

2023年度「高齢者福祉実践・研究大会 in OSAKA」発表者のタイムスケジュール

分科会 (A)

No	開始時刻	法人名・学校名	施設名ほか	発表の種別	発表タイトル (予定)
1	10時00分	聖徳園	ひらかた聖徳園	①実践発表	いつまでも美味しく食事を！
2	10時20分	そうび会	特別養護老人ホーム つるぎ荘	②研究発表	特別養護老人ホームでの「食形態UP」の試み～誤嚥性肺炎発症との関連を調査して～
3	10時40分	みささぎ会	特別養護老人ホーム 大仙もずの音	①実践発表	かたちのある食事 ～ムース食の導入について～
4	11時00分	悠人会	ベルライブ	①実践発表	多職種で取り組む利用者の状態に応じた食事支援
5	11時20分	邦寿会	どうみょうじ高殿苑	①実践発表	『歯科衛生士～介護施設で求められる人材となる～』
6	11時40分	上神谷福祉会	特別養護老人ホーム 槇塚荘	①実践発表	IADを知る！改善する！予防する！
7	12時00分	川福会	特別養護老人ホーム みのわの里	①実践発表	G I F T 「私からあなた達へ」
8	13時15分	大阪大谷大学	人間社会学部人間社会学科 社会福祉コース	③実習報告	高齢者福祉施設における虐待の防止に関する検討
9	13時35分	大阪人間科学大学	人間科学部社会福祉学科	③実習報告	せつつ桜苑でのソーシャルワーク実習を通して学んだこと
10	13時55分	四天王寺大学	人文社会学部人間福祉学科	③実習報告	ソーシャルワークの第一線を垣間見て～サンローズオオサカでの180時間実習～
11	14時15分	大阪健康福祉短期大学	介護福祉学科	①実践発表	介護福祉士養成校の2年間で学んだ介護の専門性の視点
12	14時35分	四恩学園	ふれ愛の館しおん地域密着 型特別養護老人ホーム	①実践発表	地域の世代間の結び目となるような場の提供～地域共生の実現にむけて～
13	14時55分	聖徳会	まつばら在宅介護支援センター	①実践発表	地域で暮らす高齢者と大学生の交流をコーディネート ー社会福祉法人が地域のプラットフォームに！ー
14	15時30分	大阪自彊館	在宅サービス ベラミ	①実践発表	地域と福祉施設の共同実践「フォトプロジェクト2023」～街にまつわる記憶の共有～
15	15時50分	邦寿会	どうみょうじ高殿苑	①実践発表	ええやん、道明寺 ～住民の主体形成に向けたこれからの挑戦～
16	16時10分	みささぎ会	藤井寺 特別養護老人ホーム	①実践発表	『地域の居場所作り』 こども食堂 坂の上のキッチン
17	16時30分	もくせい会	きんもくせい デイサービスセンター	①実践発表	かたのセタプロジェクト ～世代を越えて心がつながる願いごと～
18	16時50分	八尾隣保館	地域支援事業なないろ	①実践発表	地域支援事業の発展
19	17時10分	東光学園	特別養護老人ホーム ふれ愛の家	①実践発表	他部署間交流を通じて（～利用者のできる力を大切に～）

※進行次第では、開始時刻が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

いつまでも美味しく食事を！



特別養護老人ホーム
ひらかた聖徳園

岡澤菜奈美・濱砂亜弥



研究のきっかけ

▶ 長寿のために

- ・美味しくバランスのよい食事を、いつまでも自分の歯で。しっかりと食べることが重要。

▶ 実際の介護現場

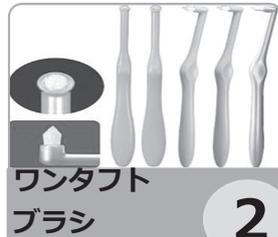
- ・ケアを拒否される、口が開きにくい、うがいができない。
- ・職員の意識や技術にバラツキや差がある。
- ・誤嚥性肺炎により、入院される方が多い。

▶ 介護現場での口腔ケアの重要性が高い

- ・令和3年度の介護保険改正により、口腔衛生管理加算が新設。

取り組んだ内容

① 口腔ケア用品の見直し



取り組んだ内容

② 研修の機会・頻度を増やす(口腔ケア研修動画の視聴)

内部研修 (1 回 目)

- ・ 言語聴覚士が作成した動画「口腔ケア技法・基礎知識に関する研修」視聴

内部研修・オンライン (2 回 目)

- ・ 訪問歯科が作成した動画「口腔ケア教室」視聴

外部研修・オンライン

- ・ 「誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト～介護向けセミナー動画」視聴

内部研修 (3 回 目)

- ・ 訪問歯科が作成した動画「口腔ケア教室」視聴

内部研修 (4 回 目)

- ・ 言語聴覚士が作成した動画「口腔ケア技法・基礎知識に関する研修」視聴

取り組んだ内容

③協力歯科による往診頻度増加と連携

▶ 協力歯科による検診や口腔ケア

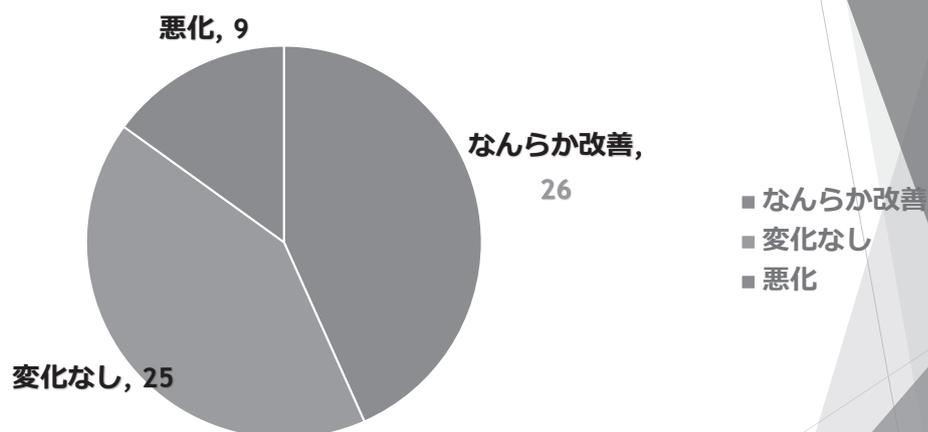
- ・ 無料歯科検診（年1回 全入居者）
- ・ 歯科衛生士による口腔ケア実施（月2回）
- ・ 歯科医による歯科検診（毎月 希望者のみ）

言語聴覚士が
同行・連携

→ 歯科衛生士等と随時連携し、介護職へ個別指導を行う。

結果と効果①口腔改善

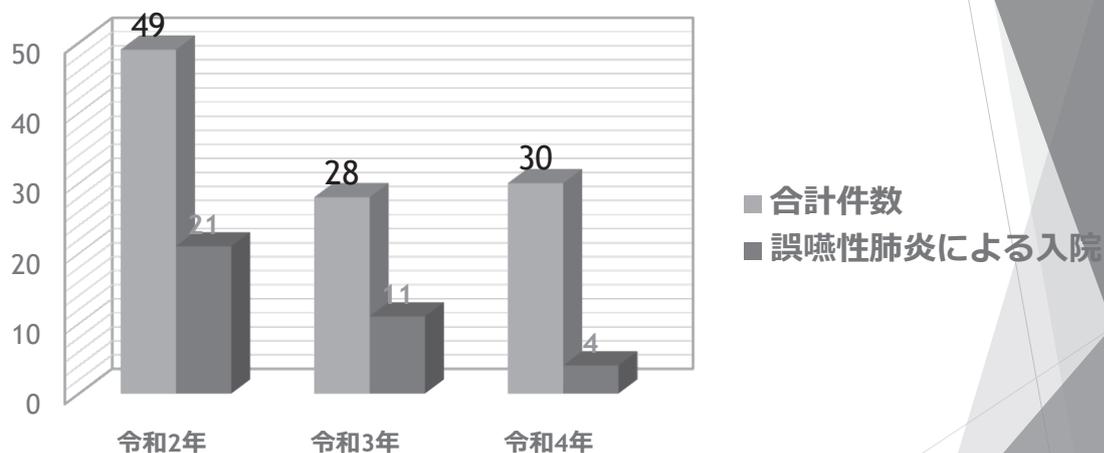
過去2年間の歯科検診による入居者(60名)への効果



入居者の約40%が口腔改善した。

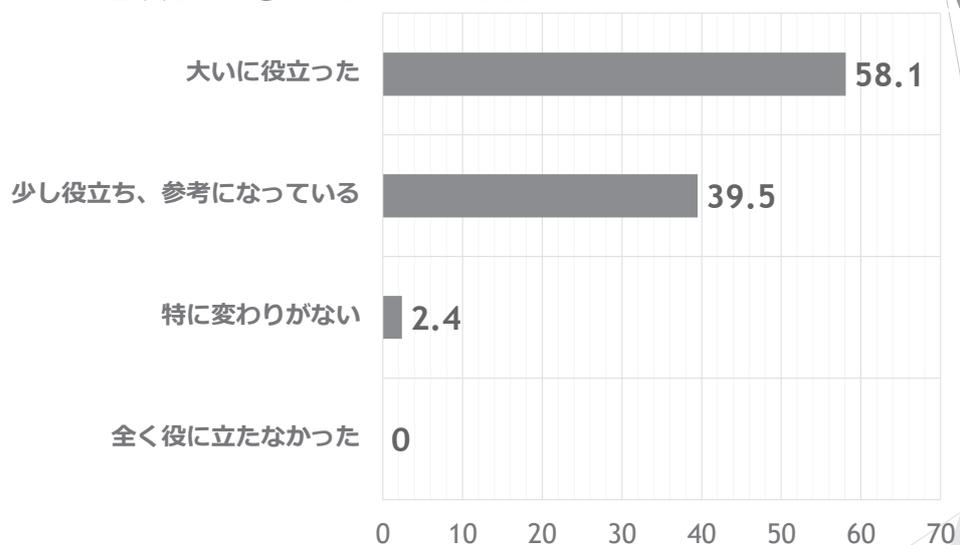
結果と効果②誤嚥性肺炎の減少

入院者数の内、誤嚥性肺炎による入院者数



誤嚥性肺炎による入院が減少した。

結果と効果③職員の実感



職員の98%が役立った、参考になっているとの意見。

事例① T様 要介護度5

▶ 介入前

- ・上下義歯あり。自歯が少なく、歯の根っこの部分が多い。
- ・口臭がきつい。痰がよく絡み、口腔内に溜まっている。
- ・ご自身で歯ブラシで歯磨きされていたが、介助には強い拒否あり。

▶ 介入内容

- ・コンクールを使用し、歯ブラシとワンタフトでブラッシング。
- ・歯磨き前後でしっかりうがいをする。

→残渣物や細かな汚れを除去することで、口臭が少なくなった

事例② Y様 要介護度5

▶ 介入前

- ・自歯。気分により口をほとんど開けない。
- ・歯ブラシを噛む、うがい時に職員に吐き出す等拒否あり。

▶ 介入内容

- ・指を口角に入れて、歯のない箇所から磨く。
- ・コンクールを使用。歯ブラシとデンタスワブで拭う。

→ケアの方法を工夫することで、口腔内衛生が改善した

実施して感じた事

▶ 良かった点

- ・ 数種類の用品を、口腔内の状態に応じて**選択**できた。
- ・ 歯科衛生士の技術を動画でいつでも**確認**できて注意点や観察がわかりやすかった。
- ・ 口腔ケアの必要性、効果を実感できた。

▶ 気づいたこと（課題等）

- ・ 歯ブラシの使用状況や口腔内の状態によって使用の目安期間よりもかなり早く**交換が必要**になった。
- ・ 日々のケアの中で**口腔ケアに対する意識が高まった**。
- ・ 口腔ケアへの拒否が強い方はタイミングが難しく**ケアに時間を要する**。

まとめ

▶ 継続が重要

- ・ すぐに結果がでない方も多いが、日々の口腔ケアの積み重ねが**誤嚥性肺炎の予防**や**食事摂取状況の改善**に繋がる。
- ・ 口腔ケアの拒否が強い方や入れ歯のつけ外しが難しい方へは、歯科衛生士・言語聴覚士等の**専門職と連携**して対応。

今後の取り組み

▶ 口腔ケア用品の管理

- ・様々な種類があり個人では購入しにくい。
今後も施設側で購入管理。

▶ 介護職員のスキルアップ

- ・口腔ケア研修を継続的におこない知識・技術を身に付ける。

▶ 食の楽しみを

- ・口腔衛生を良好な状態に、普段の食事や行事食などを通して食べる楽しみを持って頂くことを目指す。



ご清聴
ありがとうございました



参考文献

- ▶ 高齢者の口腔ケア用品にはどんなものがある？
最適な選び方も紹介
ケアスル介護 (caresul-kaigo.jp)
- ▶ 口腔ケアの資料 はじめよう！やってみよう！口腔ケア
(kokucare.jp)

特別養護老人ホームでの 「食形態UP」の試み

—誤嚥性肺炎発症との関連を調査して—

社会福祉法人 そうび会 特別養護老人ホーム つるぎ荘
○山岡亜紀 渡邊美恵 岡澤千賀 平岡和美 白方恵介 瀧居昌之 垣内英明
西山朝子 吉田元三 片岡千晶 森山憲光

1

1

社会福祉法人そうび会 特別養護老人ホームつるぎ荘

特別養護老人ホーム（84名） ショートステイ（16名）

平均年齢88.7歳 要介護度平均4.1 平均在所日数3.2年 看取り年7件



施設の方針

食事は、人が生きていくための大きな源である。
食事は、入所者の毎日の楽しみである。
専門職が連携して慎重に利用者の食事内容及び
形態を決定してほしい。
ここは特養であり生活の場所である。
できるだけ長く口から安全に食事をとってほしい。

きっかけ

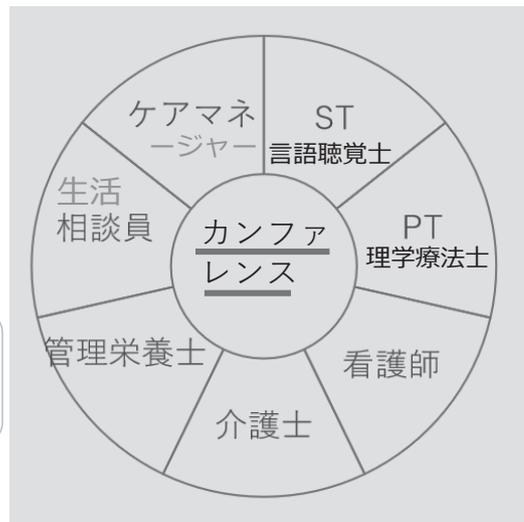
摂食嚥下カンファレンスにて
食形態UPを決定

食形態UPして食事提供

ムセが増える
かも…



・現場からの不安
→食形態UPすると、誤嚥性肺炎になるのでは？



目的：食形態UPと誤嚥性肺炎発症に関連があるか

調査期間と対象：

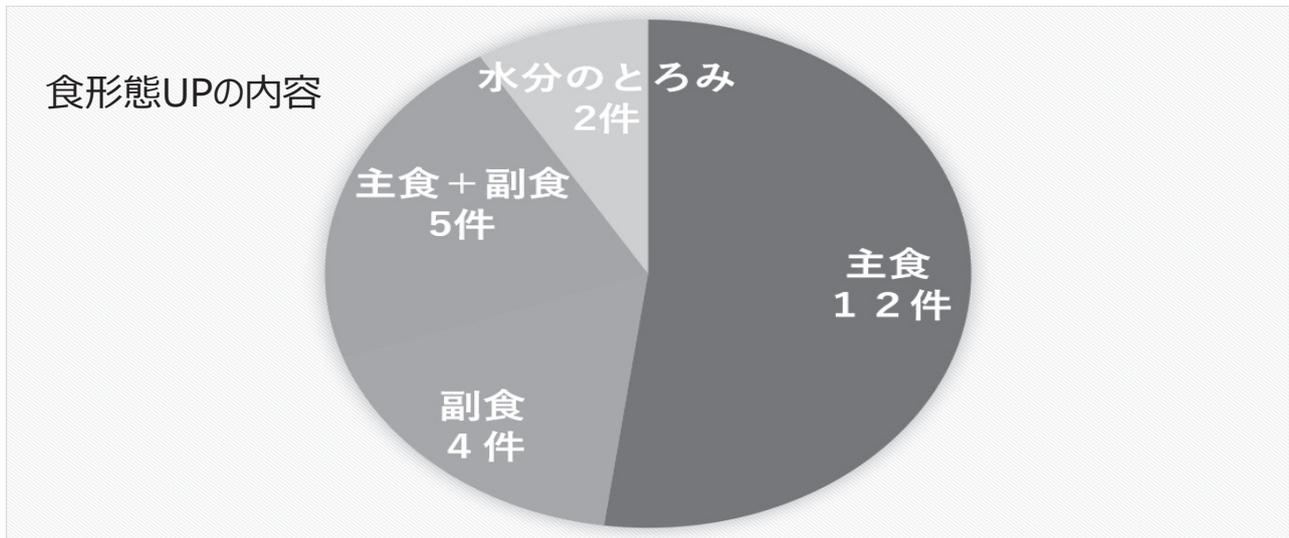
2022年4月1日から23年3月31日までに
食形態UPした延べ23例

方法：23例の誤嚥性肺炎発症の有無



結果

食形態UPした23例中、誤嚥性肺炎発症はゼロ！！



3.摂食嚥下カンファレンス

- 食形態UPを決定
- 食事条件を設定
- 再評価日設定：観察項目共有



実際の介護職員への申し送り簿

※ムセの増加や、ムセた時に休憩できているか、
食事時間が20分以下になっていないか、
確認、見守りをお願いします。

4 5 度



※11/28(月)軟飯UP後の再評価に伺います。

ムセが3回以上見られる、食事時間(25分)が大きく変化したなどあれば
再検討が必要です。また様子教えてください。

※2/27(月)再評価予定

摂取量・食事時間・姿勢の崩れ・ムセの増加
評価をお願いします。

4.1週間後の再評価

実際の介護職員への申し送り簿

本日、極刻み食にUP後の再評価日でした。

- 食事中のムセなく、ペース、一口量も問題なし。
 - 誤嚥の徴候なし
 - 「おなかすいた」との訴えも減少し、満足されている様子。
- 以上から、極刻み食を継続していくことと決定しました。
主食：粥(継続)、副食：極刻み食(あんかけたつぷり)

必ずあんかけたつぷりをお願いします

水分：とろみなし

食事時間の目安：20～25分(20分以下なら速すぎ)

食後の口腔ケア：必須。ぶくぶくうがい(上手にされます)

歯ブラシによるブラッシング



5. 専門職会議

実際の会議資料

3.経口摂取（食形態）を維持した方、UPした方

<UP>

- ・ 4階 [] 様…水分摂取量が低下。現場より「とろみをはずせないか」。
- 水分（お茶）：弱とろみ付けからトロミなしにUP
- ① 専用記録用紙を用いて5/11～16 昼のみ 5/17～30 朝・昼・夕
段階的に評価
- ・ 3階 [] 様…空腹の訴えあり。現場より「主食の形態を上げれないか」
- 主食：粥から米飯にUP
- ① 副食の刻み食にはとろみ付きだし汁であんかけ状にする

実績報告：食形態UPした方、内容

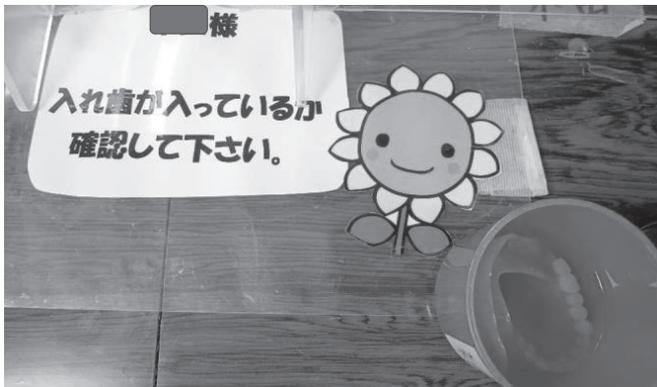
多職種連携による成果を共有



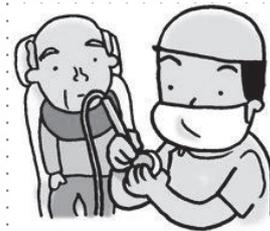
11

具体的な取り組み

(1) 義歯装着継続



訪問歯科



義歯調整



(2) 不要な水分のとりみをなくす

① お茶とろみなし



② 汁物とろみなし



チェック
シート
使用

1週間
観察

段階的に
とろみを
なくす

13

実際に使用したチェックシート

お茶摂取量

- ① ムセがなかった
- ② お茶で1~2回ムセた
- ③ お茶で3回以上ムセた
- ④ お茶で1回以上激しくムセた

参考：LIP（福山ら，2018）

様 ところみなしお茶の摂取チェック表

※昼のみ 記録者	開始日						評価日
	5月11日	5月12日	5月13日	5月14日	5月15日	5月16日	
お茶摂取量	150	200	200	200	180	200	
①ムセがなかった	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
②お茶で1~2回ムセた	2	2	2	2	2	2	
③お茶で3回以上ムセた	3	3	3	3	3	3	
④お茶で1回以上激しくムセた	4	4	4	4	4	4	

※問題がなかったため、5/17~5/23まで1週間朝・昼・夕すべてお茶はとろみなしで評価

※朝・昼・夕 記録者	開始日							評価日
	5月17日	5月18日	5月19日	5月20日	5月21日	5月22日	5月23日	
お茶摂取量	200 200 200	100 100 180	200 100 300	200 200 200	250 100 150	150 150 150	150 100	
①ムセがなかった	(1)(1)(1)	(1)(1)(1)	(1)(1)(1)	(1)(1)(1)	(1)(1)(1)	(1)(1)(1)	(1)(1)(1)	
②お茶で1~2回ムセた	2 2 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	
③お茶で3回以上ムセた	3 3 3	3 3 3	3 3 3	3 3 3	3 3 3	3 3 3	3 3 3	
④お茶で1回以上激しくムセた	4 4 4	4 4 4	4 4 4	4 4 4	4 4 4	4 4 4	4 4 4	

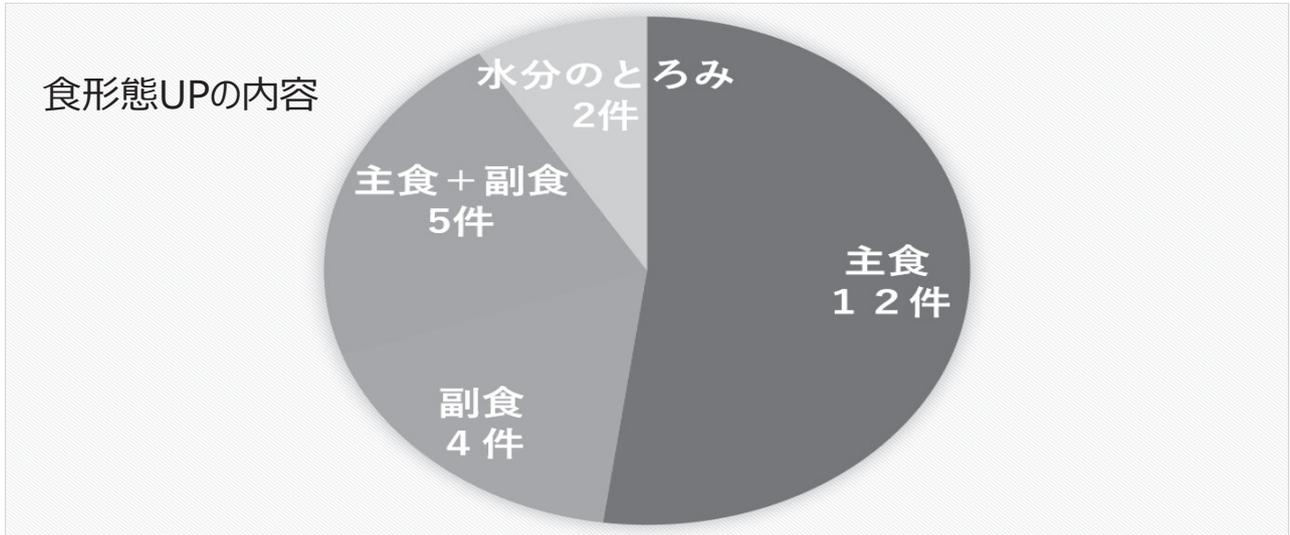
※ムセの問題みられなかったが、5/23評価日に掻痒感持続中で、食事に集中しづらい、やや活気が見られない等あったため、もう1週間同条件で評価継続

※朝・昼・夕 記録者	開始日							評価日
	5月24日	5月25日	5月26日	5月27日	5月28日	5月29日	5月30日	
お茶摂取量	100 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200	
①ムセがなかった	(1)(1)(1)	(1)(1)(1)	(1)(1)(1)	(1)(1)(1)	(1)(1)(1)	(1)(1)(1)	(1)(1)(1)	
②お茶で1~2回ムセた	2 2 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	
③お茶で3回以上ムセた	3 3 3	3 3 3	3 3 3	3 3 3	3 3 3	3 3 3	3 3 3	
④お茶で1回以上激しくムセた	4 4 4	4 4 4	4 4 4	4 4 4	4 4 4	4 4 4	4 4 4	

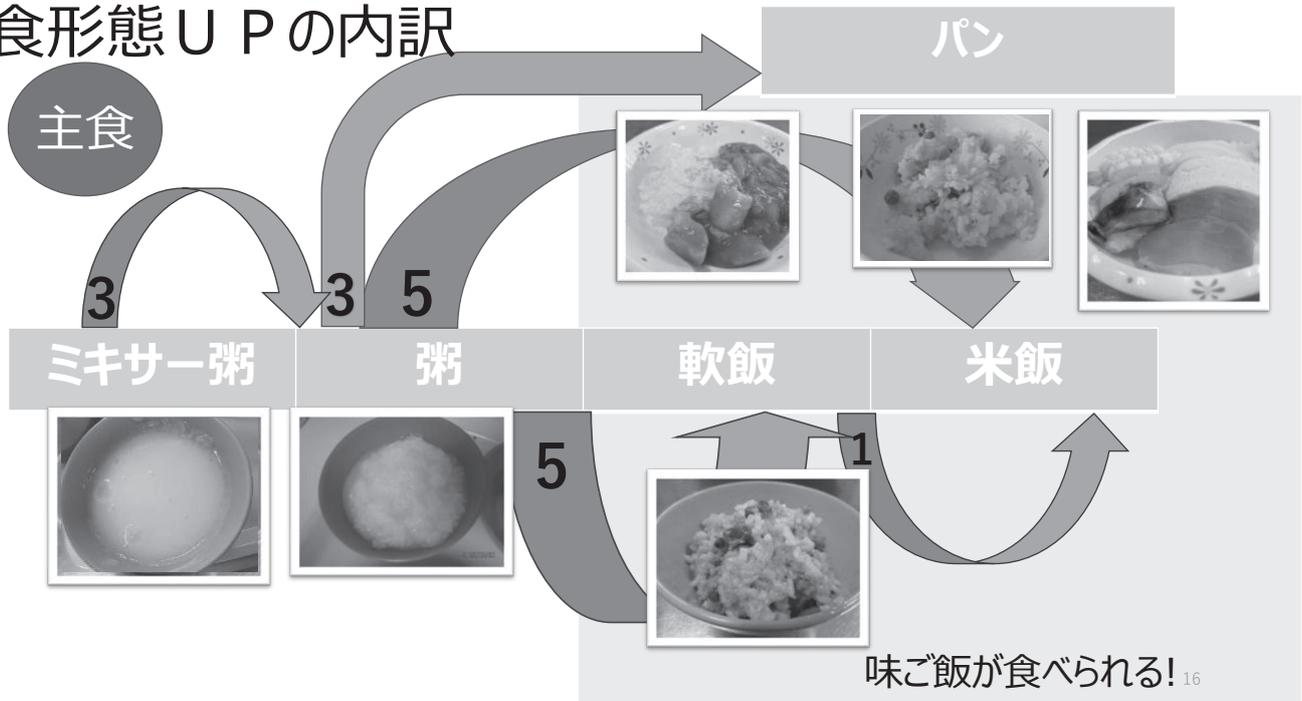
2019.5.28 5P5

結果の詳細

食形態UPした23例中、誤嚥性肺炎発症はゼロ！！

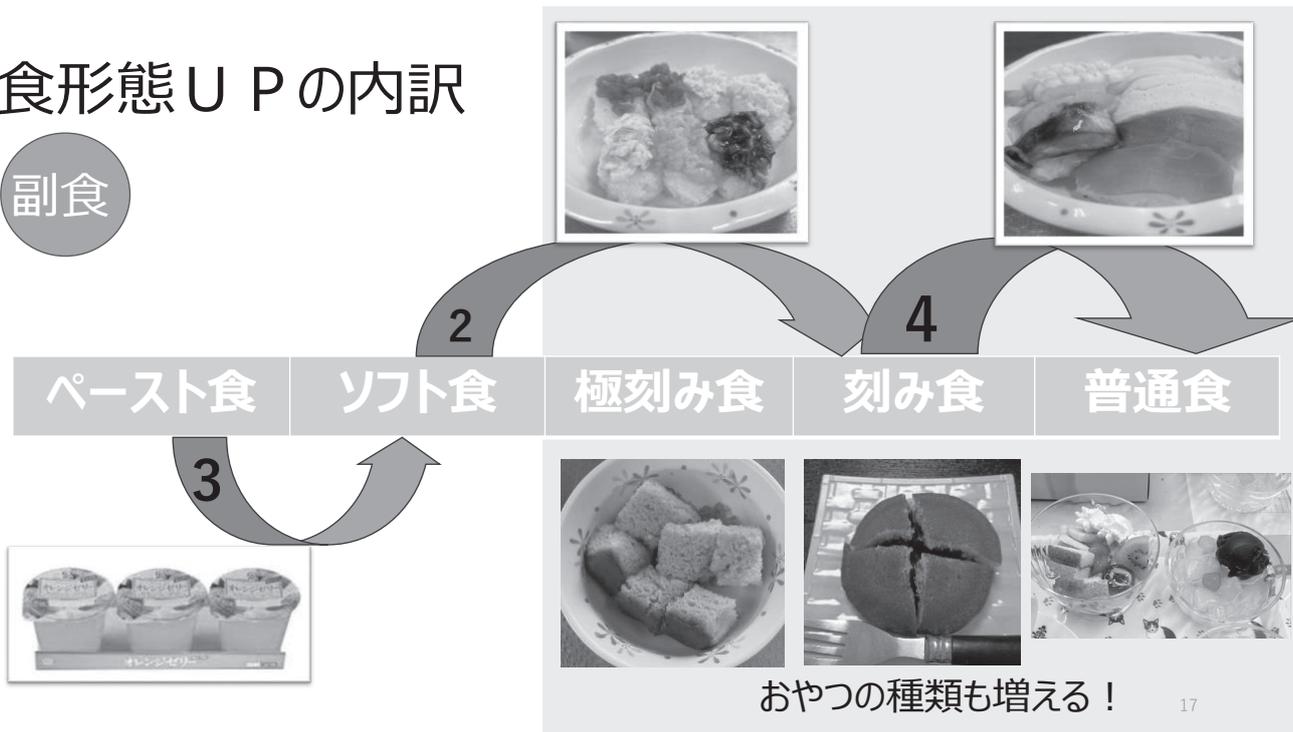


食形態UPの内訳



食形態UPの内訳

副食



考察1

食形態UPは適切であった



藤谷ら¹⁾は「誤嚥のリスク回避のために低めの食形態から開始することは、しばしば行われている。…咀嚼感も味のうちであり、やわらかすぎるものだけを出しては、楽しく、量を摂れる食事にはなりにくい。…**低すぎない、適した食形態を選択することは食欲・量の摂取の面では重要である。**」と述べている。

1) 藤谷順子、食物形態と栄養サポート。

The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 2017; 54: 116-120

考察2

多職種連携により安全性が確保できていた

荒幡ら²⁾は、「全職員に対する嚥下性肺炎の病態と治療に関する啓蒙活動と、チェックシートおよびカンファレンスに基づく個別化された包括的介入が必要であると判断…肺炎に至った原因が可能な限り排除された」と報告している。



2) 荒幡昌久、高齢者嚥下性肺炎に対する包括的診療チーム介入試験、日本老年医学会雑誌 2011 ; 48 : 63-70

19

まとめ

今回の調査は職員からの不安の声が発端であった。

調査期間中、現在の取り組みで普通食に近づけた食形態UPが実現し、誤嚥性肺炎の発症はなかった。



今後の展望

施設内の連携に加え、訪問歯科から口腔ケア方法の助言をもらうなど、施設外の専門職とも連携を取りながら、誤嚥性肺炎を予防していきたい。



12

ご清聴ありがとうございました！



16

21

かたちのある食事 ～ムース食の導入について～

社会福祉法人みささぎ会
特別養護老人ホーム大仙もずの音
管理栄養士 中川 真緒

1

社会福祉法人みささぎ会

藤井寺特別養護老人ホーム
藤井寺市藤井寺4丁目11番7号



高齢者ケアセンター
大仙もずの音
堺市堺区大仙町1番2号



平成24年12月に開設した
定員100名のユニット型特養

高齢者ケアセンター
つどうホール
藤井寺市小山3丁目151番地の1



堺市 北第1地域
包括支援センター
堺市北区北花田町3丁28-1



制度の狭間で困窮し社会的孤立状態に陥っている人たちに、地域と連携し支援する。



企業主導型保育園
loni保育園
堺市堺区一条通9-36



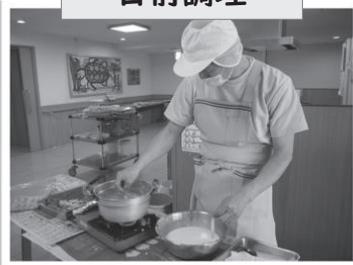
おいしく・楽しい給食を提供



目前調理



行事食
ご当地メニュー



酵素を使用したやわらか食



ムース食について

- ・食材をペーストにして、型に入れて固めたもの



導入した2つの理由

1.ご利用者にとって食べやすい食事形態をつくる

- ・何を食べているのかわかりにくい
- ・液状なので、こぼしやすい
- ・水分を足して作るため、量が増えてしまう

- ・形があるので食材が分かりやすい
- ・食べこぼしにくい
- ・盛り付けがしやすい
- ・ただし、市販品は価格が高い



導入した2つの理由

2.肺炎での入院を減らす

⇒ミキサー食提供者の肺炎入院数が多い

H30年度

20人のうち18回

H31年度

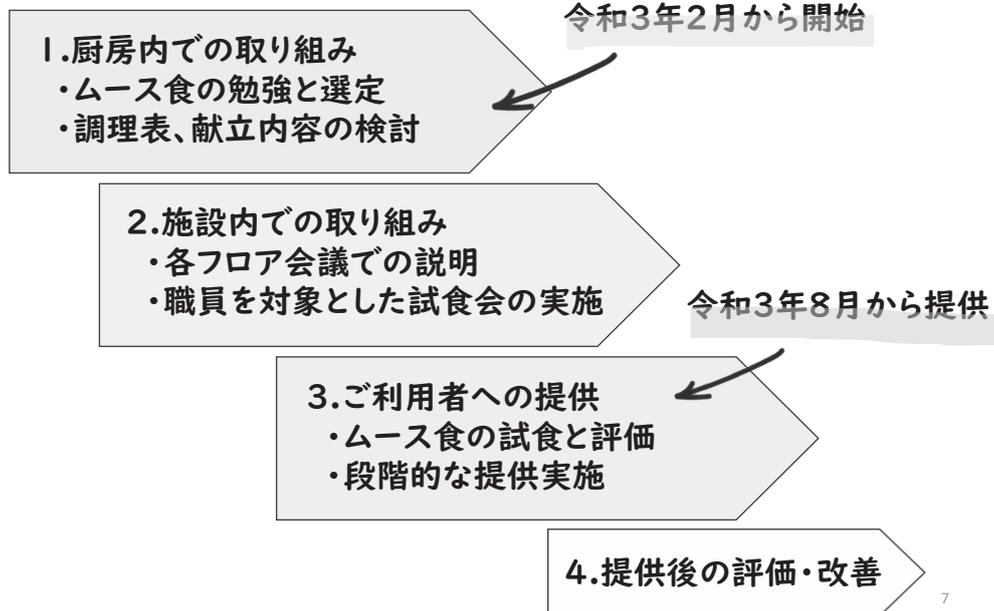
20人のうち11回



○手作りでは継続的な調理が難しかったため、市販のムース食で導入をおこなった。



導入までの流れ



1. 厨房での取り組み

① ムース食の勉強と選定



1. 厨房での取り組み



1. 厨房での取り組み

② 調理方法・献立内容の検討

カレーの場合

- ・牛肉ムース: 30g
- ・じゃが芋ムース: 20g
- ・にんじんムース: 20g
- ・カレールー



八宝菜の場合

- ・豚肉ムース: 30g
- ・にんじんムース: 20g
- ・キャベツムース: 20g
- ・しいたけムース:
- ・中華あん



2.施設全体での取り組み

①各フロア会議での説明(介護職・看護師等)

導入の目的・メリット、スケジュール等を説明。

②試食会の実施(全職員)

	朝	昼	夕
現状	主食 (パン粥・粥) 副食：ミキサー1品 牛乳・コーヒー牛乳	主食 (パン粥・ゼリー粥等) 副食：ミキサー3品 汁物	主食 (パン粥・ゼリー粥等) 副食：ミキサー2品 汁物
変更後	主食 (パン粥・粥) 副食：ムース1品 牛乳・コーヒー牛乳	主食 (パン粥・ゼリー粥等) 副食：ムース2品 高カロリーゼリー	主食 (パン粥・ゼリー粥等) 副食：ムース2品 汁物



3.ご利用者への提供

・ご利用者には1品ずつ段階的に提供を実施。

6/16 昼食

ムース食評価シート(ミキサー食の方対象)

3南

★副食を追加で用意しています。

提供していただいた時の反応や、摂取状態を評価していただきたいです。

・各利用者様の状態について当てはまるものに○をつけてください。

申し送りの際に提出をお願いします。

6月16日 記入者氏名

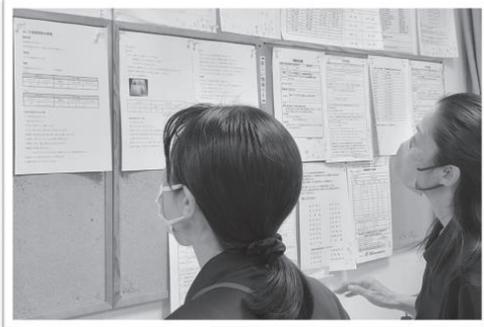
氏名	提供方法について		嚥下状態について		
	一口サイズ	つぶした	問題ない	口の中に残る	飲み込めない
	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		

・その他気が付いたこと、利用者様の反応等、自由に記入してください。

・個別の子供 提供有るから分けるの口の中残るは悪い事
・食べ残す音も聞いて



3.ご利用者への提供



②松花堂弁当

献立内容

- ・天ぷら：海老の天ぷら風ムース（スチーム加熱）
温野菜南瓜、いんげんに薄めの衣をつけて揚げる
上から天つゆ（トロミ2%）をかける
- ・炊き合わせ：温野菜さといも、いんげん、にんじんを煮汁で加熱（コンビ170℃、7分）
- ・梅肉和え：温野菜小松菜（スチーム加熱）に梅肉ソースをかける
- ・もも：やさしい素材白桃ゼリー



提供方法		嚥下状態		
一口サイズ	つぶした	問題ない	口の中に残る	飲み込めない
16	3	12	7	

体調不良等で摂食なし2名あり

令和3年8月から、すべての食事で
ムース食提供を開始!

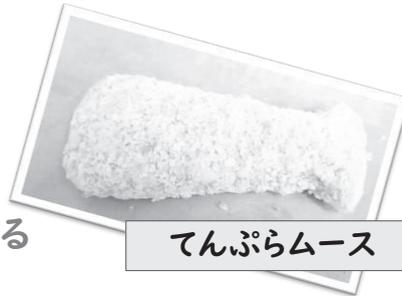


4.評価・改善

①調理方法の変更

天ぷらムースが食べづらい

⇒天つゆで煮込むと柔らかくなる



てんぷらムース

②タイムスケジュールの変更

⇒ムースの提供人数が増えたため、調理時間を変更

③盛り付け方法

⇒盛り付けしやすいように、
メインと添えを一緒に用意

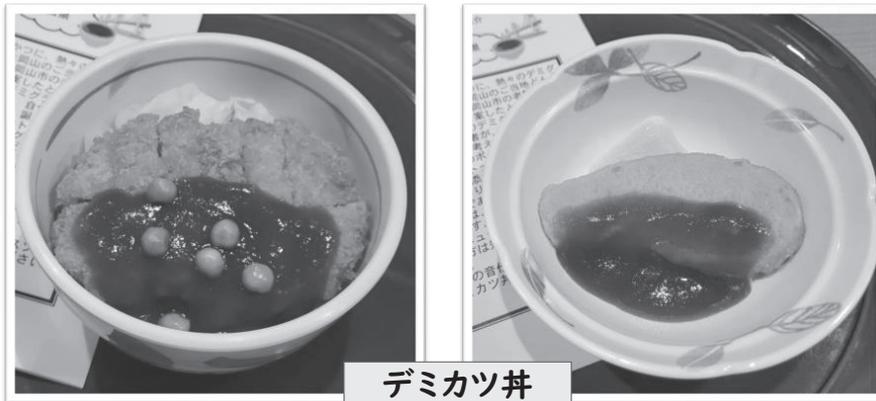


加熱前のムース食



考察（利用者）

①常食と似たような見た目、メニューの提供ができることで、ご利用者・ご家族に喜んでいただけた。



考察（利用者）



16

考察（利用者）

②肺炎での入院数が減少

H31年度 20人中18件 R4年度 22人中5件

ムース食の提供が
影響してると考えられる

③栄養状態について

ムース食ではミキサー食に比べ、提供する量が減ったが、
体重、アルブミン値は変化はなかった。

④食材料費

当初予測：1日約170円。→結果、75円増加で抑えられた。

H31年：711円/日 R4年：786円/日

⇒物価高騰もある中、廃棄を減らす等コスト削減に成功。



考察（職員）

① 事前説明に力を入れたことで、全職員が協力的で
スムーズに導入できた。

② 評価シート使用することで、様子や方法を共有できた。

③ 職員が、ご利用者に合わせて提供方法を工夫してくれた。

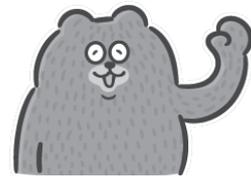
⇒他職種共同で、ムース食の導入に取り組む
ことができた。



まとめ

- ①ムース食の摂取が難しいご利用者への食事
⇒少量高カロリーでの給食提供や
ペースト食の検討
- ②残食の増加・メニューのマンネリ化
⇒新しい味付や盛り付け方法をつくる
- ③現在提供している食事形態の見直し
⇒キザミ食をやわらか食へ
- ④職員への継続的な周知

がんばる！



多職種で取り組む 利用者の状態に応じた食事支援

社会福祉法人 悠人会
特別養護老人ホーム ベルライブ
宮崎 秀幸

ベルタウン 施設概要

7階 6階 5階	介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム ベルライブ (ユニット型：1ユニット8名)	95名 (ショート ステイ 7床含む)
4階 3階	介護老人保健施設 ベルアルト	100名 (ショートステイ 含む)
2階	幼保連携型認定こども園 ベルキンダー	140名
1階	通所リハビリステーション 通所介護 居宅介護支援事業所 訪問介護	85名 45名



問題点の抽出・絞り込み

	重要性	緊急性	実現性	6か月後の実現性	施設方針	顧客への貢献	不満要望	合計
余暇活動が少ない	1	1	2	2	2	3	2	13
利用者に応じた食事介助の方法が共有できていない	2	3	2	2	3	3	2	17
利用者に関わる時間が少ない	2	1	2	2	3	3	1	14
ケアの統一ができていない	3	1	2	2	3	3	1	15

テーマの選定

介護・保育の質を科学する
～質の向上と標準化を基盤に
結果の再現性を求め～

入院率の減少、収益の向上

多職種で取り組む 利用者の状態に 応じた食事支援

現状把握

NO.	何を調べたいですか？	どのデータを使いますか？	収集担当者
1	経口維持加算Ⅱの算定者数	経口維持加算継続判定リスト	QCメンバー
2	誤嚥性肺炎での入院者数	2022年度ベルライブ管理項目	QCメンバー
3	ミールラウンドへの該当ユニット担当職員の参加率	ミールラウンド記録	QCメンバー
4	ミールラウンドに対しての介護福祉士の記録・申し送り数	ほのぼの申し送り・ケース記録	QCメンバー

目標設定

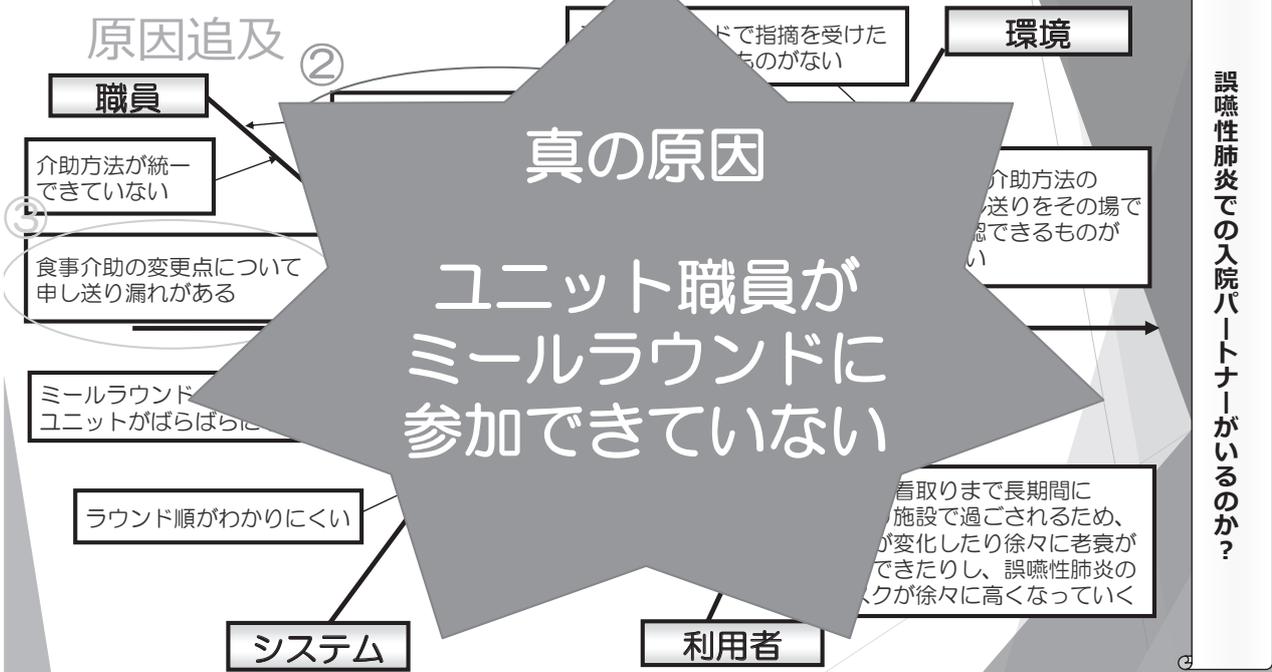
誤嚥性肺炎での入院者数

2022年度
2件

ケアの統一！
適切な評価！

目標
0件

原因追及



対策検討

- ① 勉強会
- ② ミールラウンド順序
- ③ 情報共有シート

対策① ミールラウンドについての勉強会を実施、理解を深める

ミールラウンドを一緒に取り組んでいきましょう！

嚥下評価のポイントって？

経口維持加算ってなに？

嚥下評価・経口維持加算について、リハビリ課・栄養科・介護福祉士で勉強会を開催

対策② ミールラウンド順序

7月21日
ミールラウンドリスト
5丁2番 A様 B様
6丁

ラウンドメンバー
・フロアがバラバラ

多職種が
参加できる！
ラウンドメンバー
フロアをまとめる



7月15日
ミールラウンドリスト
5丁1番 A様、B様、C様
5丁2番 D様
5丁3番 E様

対策③ 情報共有シートを作る

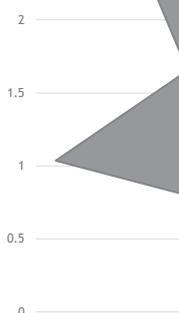


ラウンド後に多職種で
シート記載、修正

効果確認

誤嚥性肺炎での入院者数

2022年度 2件



達成率 100%

2022年度

介入後結果

効果確認

▶ 有形効果

誤嚥性肺炎による入院者が0になった

ミールラウンドの進行がスムーズとなり、

利用者一人当たりのラウンド時間を増やすことができた

▶ 無形効果

ミールラウンドの必要性、知識の向上が見られた

休憩交代やフォロースタッフでも情報共有シートをもとに、
統一した食事介助が行えた

定着化

What (なにを)	When (いつ)	Where (どこで)	Who (だれが)	Why (なぜ)	How to (どうする)
ミールラウンド リストを	ラウンド 前月に	パソコンで	管理栄養士 が	ユニット職員も参加 できるようにする為	ラウンドメンバーを フロア・ユニット単位で 選定する
食事情報共有 シートを	食事介助・ 形態変更時 に	シート上で	給食チーム が	食事情報の共有の ために	記載しユニットへ設置 する

まとめ

利用者の状態に応じた食事介助や
食事提供を行うことが出来、
安全においしく食事を摂取して
頂けるようになった。
また誤嚥性肺炎発症者もなくなり、
身体的な負担も軽減できた。

歯科衛生士

～介護施設で求められる人材となる～

社会福祉法人 邦寿会 どうみょうじ高殿苑

大谷 まさ美



自己紹介



背景

図6 就業場所別にみた就業歯科衛生士数
(2008)平成20年末現在

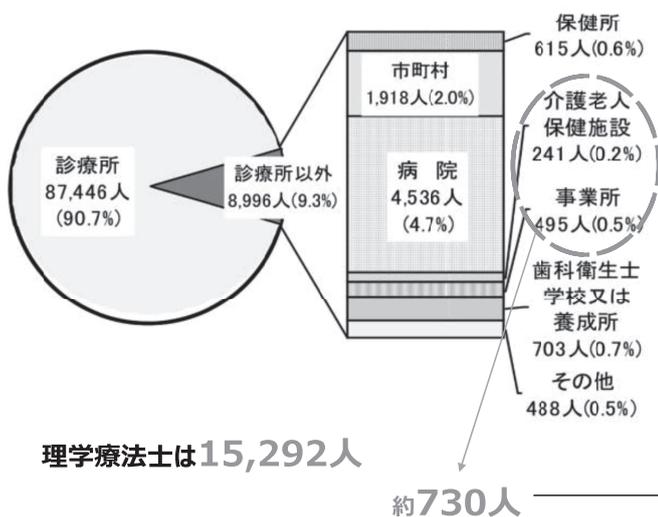
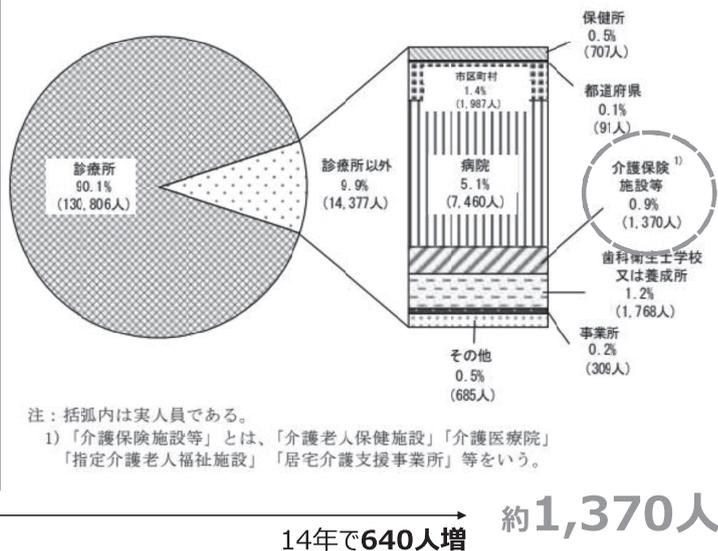


図6 就業場所別にみた就業歯科衛生士
令和4(2022)年末現在



平成2年・令和4年「衛生行政報告例（就業医療関係者）の概況」厚生労働省HPより引用

背景 職場紹介

開設と同時に歯科衛生士1名を配置



大阪府藤井寺市道明寺
2008年4月開設

地域密着型複合施設(105床)

- ・特別養護老人ホーム
- ・グループホーム
- ・特定ケアハウス
- ・一般ケアハウス
- ・ショートステイ
- ・デイサービス
- ・ヘルパーステーション
- ・ケアプランセンター

介護職員と口腔ケアで協働するための
業務計画を立てよう



背景 口腔ケアに関する介護職員の意識調査

【 口腔ケアの支援が十分できない要因は？ 】

環境要因		技術要因		その他	
時間がない	7	ケアの知識・技術の不足	4	タイミングが合わない	2
人手不足	5	口の中を把握していない	2	記入なし	2
業務が忙しい	4	利用者に指示が入らず開口困難	1		
入居者自身との関わり不足	3	歯茎が治らない	1		
ショート利用者の構成による	1				
職員間の連携不足	1				

2010.10 (自由記入形式 特養・ショートステイ職員 計26名回答)

背景 口腔ケアに関する介護職員の意識調査

【 今後の自分の改善点は？ 】

環境要因		技術要因		その他	
時間を作る	4	見守りや声掛けを増やす	7	職員全員が声掛けを行う	1
介助の回数を増やす	3	介助する	4	利用者に直接伝えてください	1
入居者自身を良く知る（関わる）	2	口の中を観る	3	自分に関わることはないが他の職員はよく	
職員間の連携強化	1	ケアの技術UP	3	やってあげてこれで十分。	1
		利用者が行っているケアの方法を知る		ショート利用者の場合、職員が施設で介入しても家では？家での対策を。	1
		口腔ケアを生活リハととらえて支援	1	自分の勤務時間ではケアはすでに終わっており、関わる機会はない（パート）	2

2010.10 (自由記入形式 特養・ショートステイ職員 計26名回答)

背景 口腔ケアアンケートから見えてきたもの

介護士の思い

- 時間がない
 - 人手不足
 - やり方がわからない
 - 施設利用の時だけ綺麗にすればいいの？ 家での対策も考えて
- ・・・ 効率も考えたケア・口腔ケアの認識改善
 - ・・・ 魅力的な職場・離職防止・学生の誘致
 - ・・・ 入居者毎のやり方の指導が要・学生指導
 - ・・・ 地域の口腔ケアIQの向上
在宅系事業所への啓発/指導

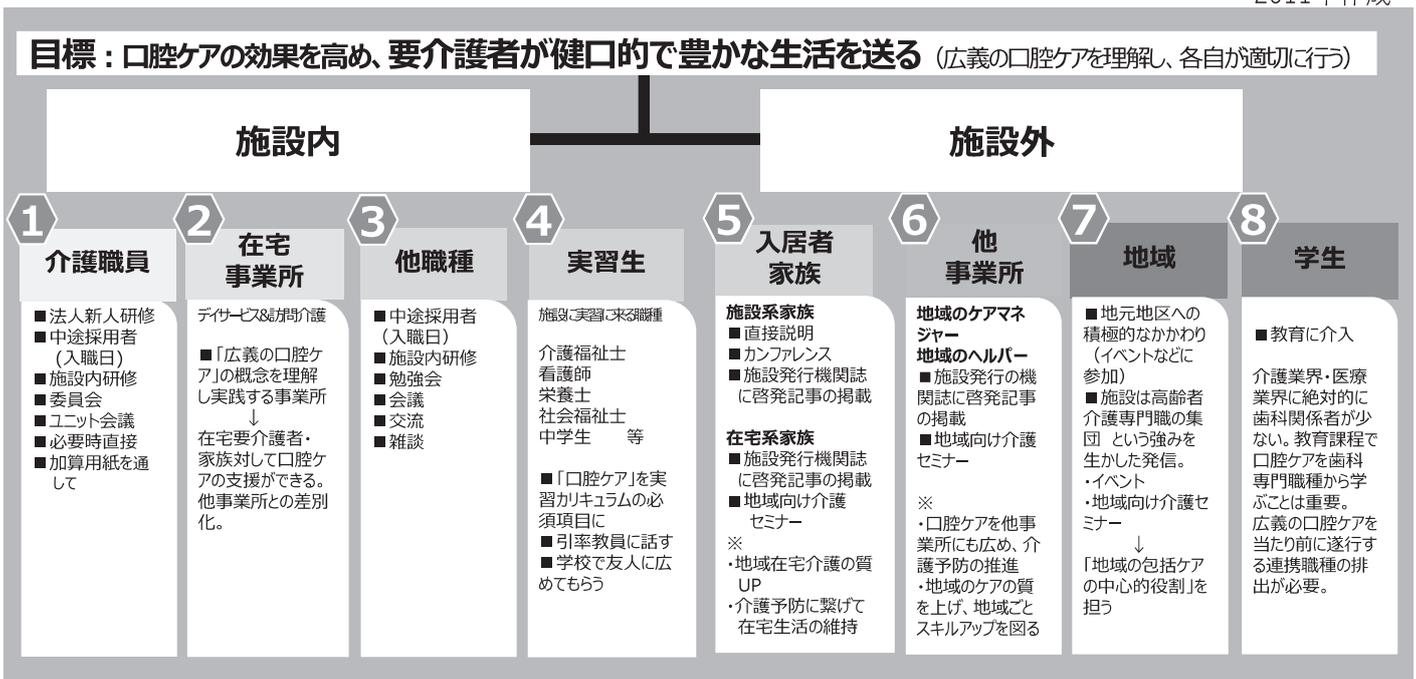


目的 介護施設で求められる人材となる



方法 業務計画の通りに状況を把握しながら実施

2011年作成



方法 **すべて達成** ※一部を紹介

施設内

1 **介護職員**

入職時に伝えたい
口腔ケア
あなたの役割

途採用者研修

ヘルパー

食事介助研

新人法人研修

口腔ケアのポイント

入居者口腔ケア方法プリント

2 **在宅
事業所**

ヘルパー

姉妹施設在宅部門

書類連携

利用者別口腔ケア動画

3 **他職種**

会議

食支援研修

安全で楽しい食事のために
調理師等5つの職種が学ぶ23
予防義務、発見義務
について

食支援連携

4 **実習生**

介護士
看護師
社会福祉士
歯科衛生士
中学生

「口腔ケア」の歴史

- ・ Facial care (Facial care)
- ・ Dental hygiene nursing care (Dental hygiene nursing care)
- ・ 「患者の口腔ケアは看護学部の教育
でもよく学ぶもの一つである」
「看護科の授業でも」

みんなが解かる口腔ケア
一口でわかる口腔ケア、知らぬが懐かしいの一言

5. ターミナルケアにおける
「口からの楽しみは心の栄養」

方法 **すべて達成** ※一部を紹介

施設外

5 **入居者
家族**

機関誌

利用者ご家族への
手紙

介護者家族
セミナー

6 **他
事業所**

機関誌

ケアマネへの手紙

口腔ケア研修

7 **地域**

地域向け
オープン
セミナー

「食べる」と
「生きる」と

参加者98名

地域向け
口腔ケアセミナー

藤井寺市
医療介護
連携会議

他事業所
向け研修

8 **学生**

介護養成校
口腔ケア・食事介助 4コマ講義

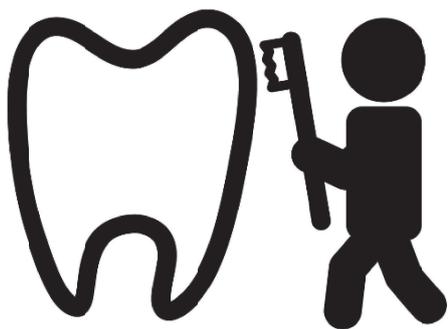
方法 2022年度からの取り組み



- 1 全入居者の口腔環境の把握 **無料歯科検診**
- 2 介護職員の口腔ケアスキルチェック
- 3 口腔ケアスキルコンテスト

方法 2022年度からの取り組み

介護職員の口腔ケアスキルチェック



- ・施設職員全員の口腔ケアスキルを把握
- ・個々の職員への的確な指導
- ・施設全体の口腔ケアスキル向上

- ・対象者 口腔ケアに携わる全介護職員（ヘルパーステーション除く）
- ・方法 ご入居者への口腔ケア場면을歯科衛生士が観察
- ・実施期間 5月から10月（1人1回）
- ・スキル評価方法 厚生労働省人材開発「ジョブカード」モデル評価シートを参考に施設向けに改定
- ・評価後 評価の低かった方に関しては別日を設定し、レクチャーにてフォローし、スキルアップを図る。

参考資料 厚生労働省人材開発「ジョブカード」モデル評価シート

6項目4段階評価						
項目	A	B	C	D	A	B
1. 物品管理						
2. 観察						
3. うがい						
4. 清掃						
5. 義歯						
6. 声掛け						
A: 常にできている 3点 B: 大体できている 2点 C: 少しできている 1点 D: 評価しない 0点						
合計点数で総合評価						

チェックの結果 2022年度からの取り組み

口腔ケアスキルチェック

2022年 63人

部署	平均点 18点満点	参加人数
ショート	8.6	12人
特養	13.8	22人
グループホーム	12.62	8人
ケアハウス	14.8	13人
デイサービス	4.6 (15点満点)	8人

2023年 56人

部署	平均点 18点満点	参加人数
ショート	10.83	12人
特養	14.80	20人
グループホーム	17.32	6人
ケアハウス	15.81	10人
デイサービス	15.06	8人



★在宅系の点数が低かった

在宅系職員自身の課題

- ・自宅での歯磨き習慣がある方に介護の専門職としてどこまで口腔ケアに関わるか？
- ・その悩みゆえに口腔ケアに関わる機会が少ない。

★在宅系の点数も施設全体でも点数UP

2022年 職員アンケート

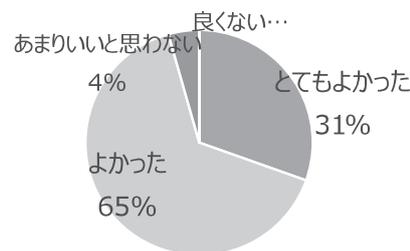
個々に返した評価用紙

項目	チェック内容	評価	コメント
物品管理	対象者のステージに応じた口腔ケアに必要な物品を理解 ・ケア前に用意 ・衛生的に管理 ・手袋のサイズ	3	Careフェイ
観察	口腔ケア前後の観察の必要を理解 ・口腔内に異常がないかを注意 ・問題を発見した場合は速やかに関係者に報告 ・記録	3	慣れおられる様子。また、 「ブラシを当てる力加減や動かす方 はしてもお上手でした。
うがい	自立支援の視点：声掛けを行いながら自力でうがいを行っ てもらっている 介護のスキル：できない利用者、専用物品などを用いて 口腔内を適切な方法で拭いている	2.5	義歯を落とした場面では手と 添えるか、洗面器に水と張る等 して、配慮も...また、ご本人の出来る 範囲で見つけサポートする支援が 見えと高く評価して思いました。
清掃	音ブラシ ・歯間ブラシ ・軟毛歯ブラシ その他 適切に使用できる	3	
声掛け	声掛けが適切に行える。 ・取り外しを対象者に指導できる。 ・汚れ、破損などを確認したうえで適切に清掃できる。	2	
声掛け	声掛け終了まで ・適切な(声、言葉、トーン)。 ・セルフケアの促し ・声掛けを引出す声掛け	2	優しさその部分でも発揮して 下さい。
		2.8	15.2

2023 職員アンケート 様

1 口腔スキルチェック

①評価内容を個々に公表しました。この取り組みについて



- ・個別に評価指摘していただけることで、把握して振り返り次の口腔ケアに活かせることができる
- ・向上心につながるのでこれからも行って欲しい
- ・言葉でもお聞きしたが、コメントもこれからの励みになった
- ・自分では気づくことができなかった改善点を知れた
- ・部署の個別スキルが上がったのでチームの認識が高まったなど

方法 2022年度からの取り組み

口腔ケアスキルコンテスト



- ・口腔ケアに日々真摯に向き合う
優秀な職員を称える

11/8 いい歯の日

目的：口腔ケアに熱心な職員を評価、
口腔ケアに対しての自己研鑽や理解を高める

参加者：口腔ケアスキルチェック合計点数の高かった者
各部署の 上位2名を 部署で1人に絞る。
各部署から1人ずつ5名

審査員：審査委員長 平沼歯科医師
法人会長
施設長
介護向上委員 スーパーバイザー
介護向上委員 委員長
看護グループ長

景品：参加賞5名 審査員特別賞1名



方法 2022年度からの取り組み

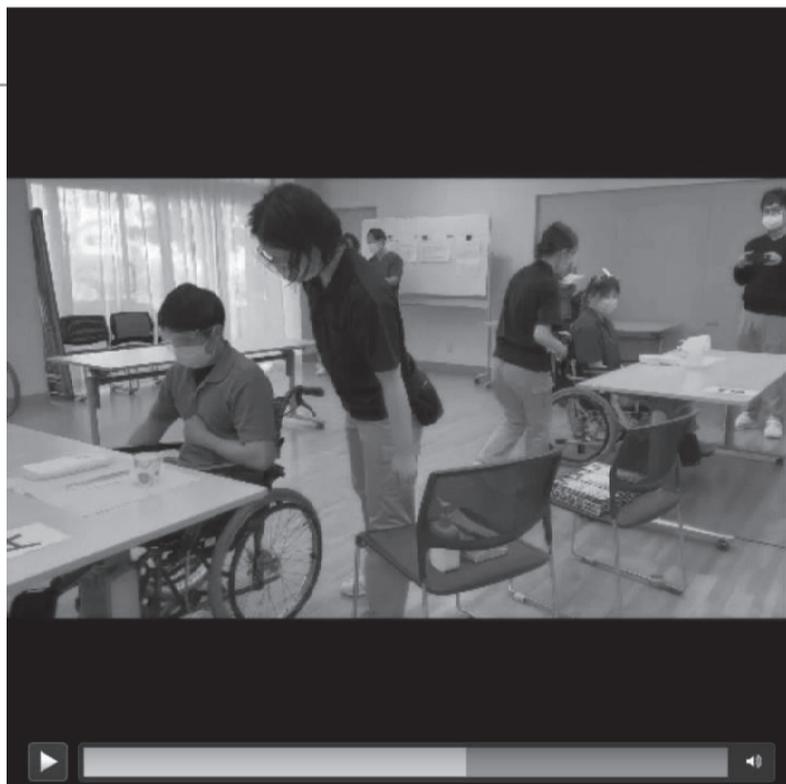
介護士と利用者の場面設定に基づいて行う

介護士の場面設定

- ・昼食を終えて15分経った。
- ・食堂から歯磨きの場所へ誘導する場面。
- ・声掛けをし誘導。
- ・歯磨きは左半分のみ介助行う。(右は時間がないのでしなくていい。また、職員が若いので歯間ブラシが入らない可能性があります。入ったと仮定してどうやって動かすか、動作のみしてもらってもいいです)

利用者の設定

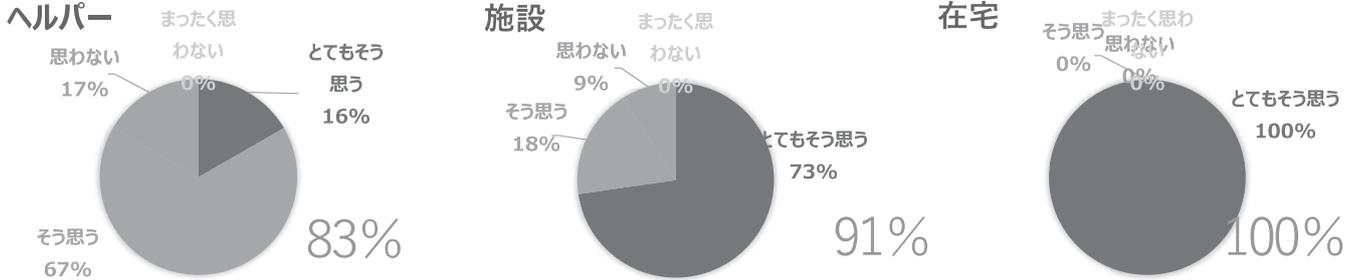
- ・入居初日
- ・70代
- ・左麻痺がある。右手右足で自走可。
- ・コミュニケーションも可能。
- ・整容など忘れがち。やり方を忘れることも増えてきた。
- ・うがいは可能。咽はない。
- ・元気なところは歯科医院に定期的に通い歯間ブラシも使っていた。



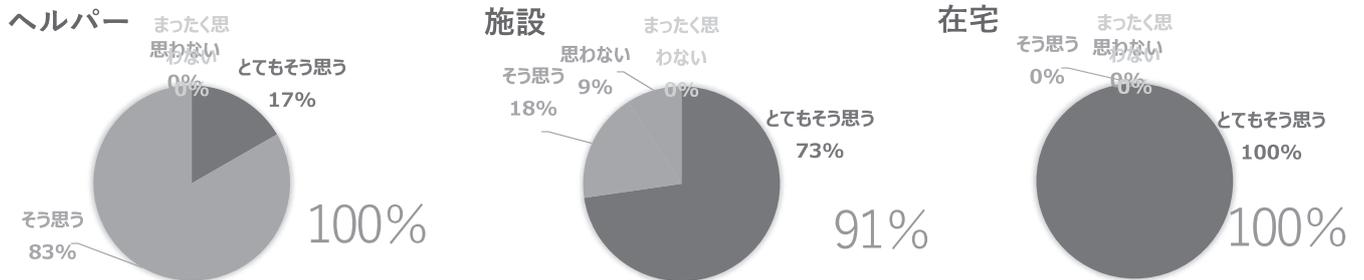
結果 歯科衛生士は求められる人材になれたか

2023年 職員アンケート 特養・ショートステイ・グループホーム・ケアハウス・デイサービス・ヘルパーステーション

①歯科衛生士が勤務していると安心感があるか



②施設がある事業所では口腔ケアスキルの向上に関して有利か



入居ご家族のお手紙

お手紙をいただきました
 <どうみょうじ高殿苑ご利用者のご家族より>
*原文より一部抜粋

「社会福祉法人邦寿会100年のあゆみ」デジタルブックより

歯科衛生士が常駐し、介護士が利用者の歯を常に清潔に保つ、行き届いた口腔ケアで、歯医者さんの常時診察もあり、安心でした。



母の食事はすべて流動食で原型をとどめていません。それを、「はんちゃん(母)の好きな肉じゃがですよ」とか「娘さんが持ってこられた大好物のかにのスープですよ」とか、大きな声で食べ物をいつくしみながら母の口に入れてくださる姿にいつも感動を覚えました。歯科衛生士が常駐し、介護士が利用者の歯を常に清潔に保つ、行き届いた口腔ケアで、歯医者さんの常時診察もあり、安心でした。

母は、高橋真梨子のファンでした。母の誕生日(結果、最後になりましたが)に介護士さんたちは、どうみょうじ高殿苑にボランティアで来られているシニアのバンドの方に事前に高橋真梨子の曲を練習してもらって、当日披露

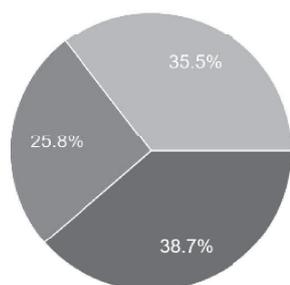
結果 歯科衛生士は求められる人材になれたか

2023年 在宅家族アンケート

問11.当施設の口腔ケアの取り組み（歯科衛生士の配置・職員の食後のケア等）に満足されていますか。

62件の回答

- 満足
- やや満足
- 普通
- やや不満
- 不満



問11.についてご意見 7件の回答

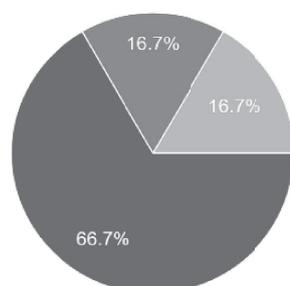
- ・歯が悪いので今後ともよろしく願いいたします。
- ・丁寧に連絡して頂いています
- ・いつもありがたく感謝しています
- ・本人が口をあけませんので、ケアしにくいと思います。
- ・現在口腔ケア対応なしです。
- ・どんな内容かわかりませんが、何もしていただけないより良いことだと思っています。
- ・本人は特に問題なく歯磨きしているので指導される事が無く概ね満足。

結果 歯科衛生士は求められる人材になれたか

2023年 在宅事業所アンケート

問6.口腔機能向上加算のプログラムについて
12件の回答

- 満足
- やや満足
- 普通
- やや不満
- 不満



問6.についてご意見3件の回答

- ・歯科衛生士が介入してくれるデイサービスは珍しく、かつ丁寧対応して頂いています。
- ・見えない口の中を観察していただき、注意すべきことの把握ができます、ありがとうございます。
- ・報告が細やか

考察

施設や職員のニーズを把握し、
変化する介護業界、進化する施設、入れ替わる
介護職員、また地域のニーズに臨機応変に対応
することで必要な介入がわかり、
協力歯科医院と連携しながら実践することで
求められる人材になってこれたのではないかと思う。



新人も熱心に口腔ケア



感染対策をしながら口腔ケア



協力歯科医師

結論



創業者鳥井信治郎氏
邦寿会HPより引用

「やってみなはれ」

Our Mission
法人理念

「笑顔と思いやり、共に暮らし、
安らぎと喜びを分かち合う」

結論

**多くの介護施設で
歯科衛生士の雇用や歯科連携が進み、
ご入居者、ご利用者のQOLを豊かにする職種として
認識していただけるように
今後も新たな挑戦と啓発に取り組んでいきたい**



社会福祉法人 **邦寿会**
総合福祉施設
どうみょうじ高殿苑



どうみょうじ高殿苑HP

私たちの初めての取り組み

IADを知る！改善する！予防する！

特別養護老人ホーム榎塚荘
大王製紙株式会社

笹岡 紗吏
武本 あゆみ

榎塚荘と大王製紙

コラボのきっかけ

アテントマイスタープロ

IADという言葉を知り、、、

知る・改善・予防

の取り組み

**IAD（失禁関連皮膚炎）とは
排泄物（尿/便/その両方）
が皮膚に接触することで発生す
る皮膚炎である**

（日本創傷・オストミー・失禁管理学会の定義）
IADプラクティスから引用

言葉の整理

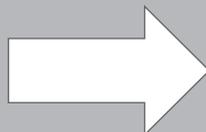
テープ式



パンツ式



パッド



どれも紙オムツです

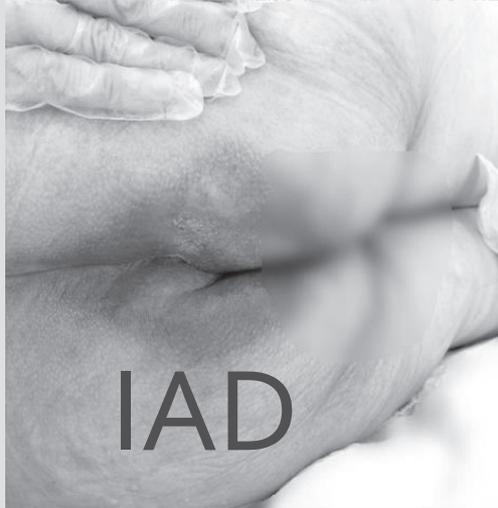
失禁とは・・・

自分の意志とは関係なく、尿や便が漏れ出てしまう
病気のこと

IAD（失禁関連皮膚炎）とは
排泄物（尿/便/その両方）
が皮膚に接触することで発生す
る皮膚炎である

（日本創傷・オストミー・失禁管理学会の定義）
IADプラクティスから引用

尿や便が触れるとこころに出来る



骨の出ているところ出来る



褥瘡とIAD

	褥瘡	IAD
定義	身体に加わった外力は骨と皮膚表層の間の軟部組織の血流を低下、あるいは停止させる。この状況が一定時間持続されると組織は不可逆的な阻血性障害に陥り褥瘡となる。	排泄物（尿または便、あるいは両者）の付着に関連して生じる皮膚障害
原因	摩擦、ずれ、圧迫	排泄物（尿や便）や皮膚の浸軟
発生部位	骨突出部	会陰部または性器周辺の皮膚、肛門周辺やパッドや下着が接触する皮膚または皮膚のしわの部分、排泄物が付着する範囲すべてで発生する可能性がある。

私たちの施設の課題は

- ・IADと褥瘡の区別が
できていないこと
- ・ケアの目的と方法が明確
ではないこと

知ることへの取り組み

- ① IADってなに？
褥瘡との違いは？

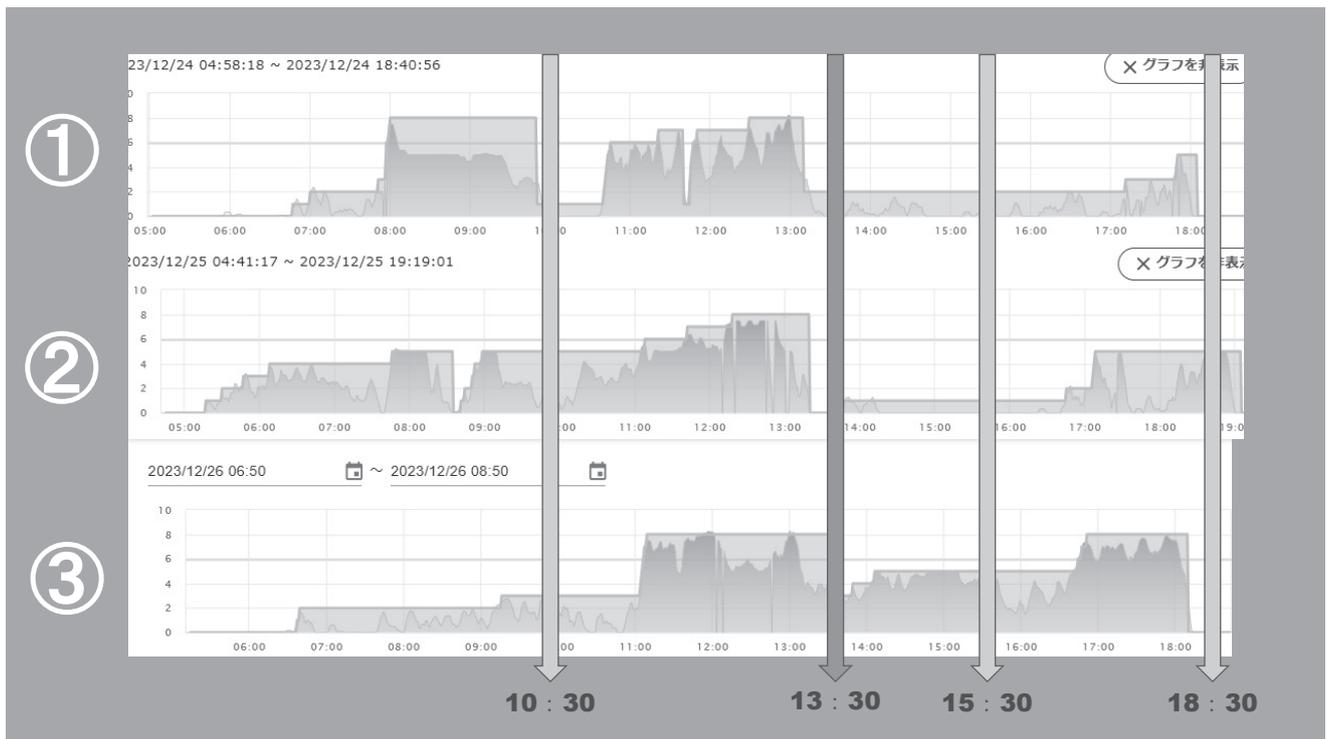


疑似便を使った講義
パッドは水様便を吸わない
だから
IADを引き起こしやすい
目でみて納得

改善への取り組み

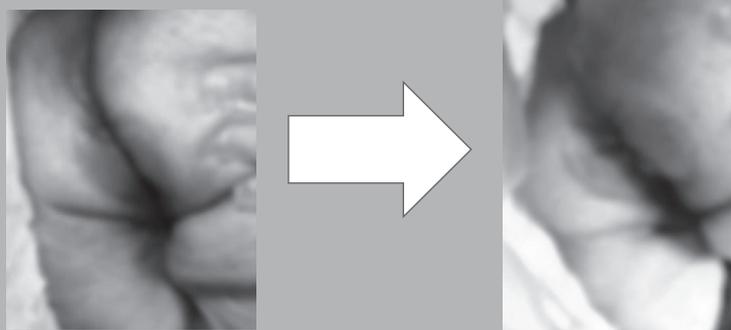
① Dフリーを使って予測し、
排泄ケア時間を見直す





改善への取り組み

② 排尿がお尻の方へ
出来るだけ流れない工夫



予防の取り組み

- ①ゴシゴシ拭かない
- ②洗いすぎない
- ③保湿・保護

見逃しかけていたこと

**自分で排泄動作が
できる方も
IADリスクはある**

IADの予防で重要なこと

清潔・保湿・保護



取り組みの結果

知る・改善・予防



私たちの今後の課題は

IADへの意識継続

介護職が気づき、看護師と
連携してケアし、予防する

ご清聴ありがとうございました



GIFT

「私からあなた達へ」

施設名 特別養護老人ホーム みのわの里

発表者 藤沢 円

共同研究者 河野 周作・石川 つや子

施設概要

- ・ 法人名 社会福祉法人 川福会
- ・ 施設名 特別養護老人ホーム みのわの里
- ・ 東大阪古箕輪 1-3-28
- ・ 平成6年設立 特別養護老人ホーム110床 ショートステイ20床 従来型
- ・ 併設事業所:訪問介護、居宅介護支援事業所 地域包括支援センター
訪問入浴 通所介護・認知症対応型通所介護 身体障がい者デイサービス
- ・ 職員数 143名

法人の理念

- ・ 一、私たち川福会は、すべての人々の権利が尊重され、皆様が安心を感じられ、生きがいを持てる社会をめざします。
- ・ 一、私たち川福会は、地域の身近な社会資源として活動し、地域社会に貢献する事をお約束します。
- ・ 一、私たち川福会は、制度の一步先を行く法人として、新たな価値を創造し、社会福祉の向上に資する事を誇りとします。



自分史とは？



家族へ伝え残した想いを「自分史」と言う形にし自身のメッセージを残す。

伝え残した想いとは？

御利用者はいつまでも家族を想い家族の為に何かをしなければとの思いを持ち続けています。

心を軽くして上げる事が使命だと思いました。



取り組みのきっかけは？

「息子と向き合いきちんと話していない事が悔やまれる」
「伝えておきたいことがある」

伝えたいが伝えられない...

「気持ちが軽くなった」



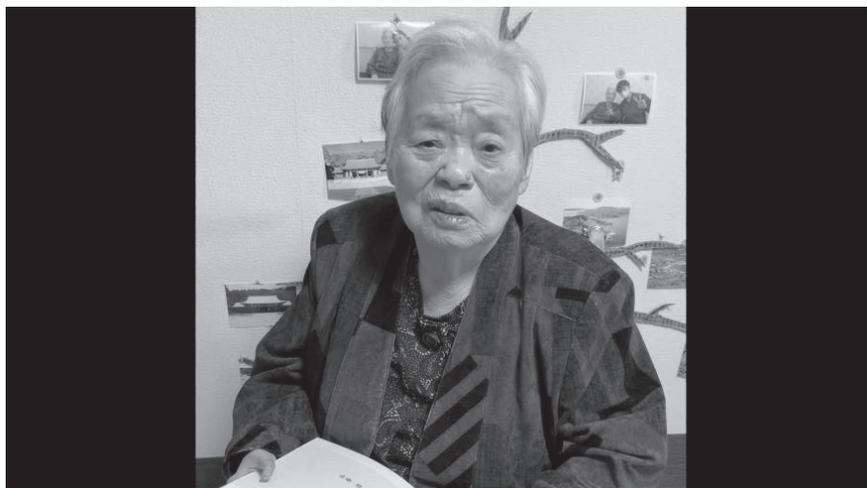
取り組みへの葛藤は？



家族様の反応は？



自分史を作成されたご利用者の反応は？



我々が拾い上げる想いは？

自分史に想いを残す事で家族・親戚・幼馴染の縁が深まりとても喜んで頂きました。



GIFT 「私からあなた達へ」

利用者様それぞれに歴史があり伝えたい想い、言葉、は違います。長い人生を送る中で辛い経験・家族との楽しい思い出があります、今では身体も不自由になり誰かの助けがないと生活が成り立たない状態にいますが夢をもたずに生きているのではありません、私達介護士が寄り添いコミュニケーションをとって精神的に支える事こそが介護士の最高の喜び、やりがいであると考えました気付かせて頂き感謝しかありません。

100人の高齢者には100個の悩み考えがある、1つとして同じはありません。

御利用者の最期のメッセージは「ありがとう・私の人生に悔いはありません」が多く語られていました、御家族への最期のGIFT「ありがとう」



高齢者福祉施設における虐待の 防止に関する検討

大阪大谷大学 人間社会学部 人間社会学科
社会福祉コース 村上蓮斗

研究目的

高齢者福祉施設における高齢者虐待（施設内虐待）の予防と対応への取り組みの現状、課題について検討すること。

研究方法

- ①施設内虐待の実態等に関する文献レビュー
- ②施設訪問によるインタビュー調査の実施



本発表ではインタビュー調査の結果について取り上げる

調査対象

A府内の社会福祉法人が運営する高齢者福祉施設の総合施設長
1名（40歳代男性）

調査方法

施設訪問による個別面接調査（半構造化面接）。
施設内の会議室で聴き取りを実施した。
調査の実施日は2023年3月27日であった。

質問内容

調査結果のスライドで取り上げる。

分析方法

回答内容を正確に把握するために、スマートフォンで録音して
逐語録を作成した。



倫理的配慮

調査対象者に対し、本調査の趣旨と目的、方法等について文書および口頭にて説明を行い、調査協力への同意を得た。

また、個人情報の保護に万全を期すとともに、録音した音声データは本論文の作成後、速やかに消去を行うこと、上記の目的以外に本調査の結果を用いないことについても説明を行い、同意を得たうえで調査を実施した。

調査結果①

質問1

施設内での虐待を予防するための研修の実施頻度や開催方法、内容について

回答

年2回実施 報道のあった月にはその都度、事故と虐待に関して、各部署へ伝達、会議でも伝えられる。

虐待の種類や事例を基に、ワークにも取り組んでいる。

調査結果②

質問2

職員の過労やストレスへの対策について

回答

随時面談を実施 離職防止に繋げている。その際に聞き取りも行う。

本人以外の職員からの聞き取り、本部へ直接相談できる窓口も設けられている。

調査結果③

質問3

職員間の連絡体制や関係性について

回答

宿直者や他部署への相談がストレス軽減や不安解消に 他の職員との繋がりや夜勤同士で連絡を取りやすくするためにインカムの導入を検討している。

調査結果④

質問4

施設内で職員による虐待が疑われる行為が発生した場合の対応について

回答

マニュアル等はなく、著書や実際の事例を共有、独自で検討に取り組んでいる。
職員へ個別で声かけや話し合いを行なっている。

調査結果⑤⑥

質問5,6

病院や警察、行政機関などとの連携および家族への対応について

回答

このような事例は施設では発生しておらず、経験が無い。

調査結果⑦

質問7

施設内虐待の予防や対応に必要と考えるものについて

回答

日頃のコミュニケーションの中から職員のお悩みを拾い上げていくようにしている。そのお悩みに気付けるように目配りしながら声をかけている。必要に応じて個別のやり取りも行う。

調査結果⑧

質問8

施設職員及び管理者としての仕事の向き合い方について

回答

社会生活の経験で利用者との向き合い方は異なるため、指導の方法を発信、声かけを続けることが大事であると考えている。普段の仕事の中で声かけをし、同じ目線での話し合いを心がけている。

利用者、職員問わず丁寧語で声かけを行っており、習慣づけることで砕けた表現や接し方は変化する

まとめ

個別性が高く、職員と近い距離で虐待防止と対応に向けて取り組みを実施している

定期的に対策を行うことが高齢者虐待の最大の予防策となる
虐待が発生した場合を想定した対応の訓練も大切

謝辞

本調査の実施にあたり、多大なご協力を賜りました高齢者福祉施設の総合施設長、施設職員の皆さまに心より感謝申し上げます。



ご清聴ありがとうございました！



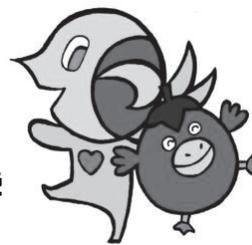
せつつ桜苑でのソーシャルワーク実習 ～個別支援計画書の作成への挑戦～



大阪人間科学大学 社会福祉学科
3年 棚田 陽向

1日のスケジュール

- ▶ 9:00 朝礼・体操・申し送り
- ▶ 9:30 情報収集・レクリエーション活動参加
- ▶ 10:30 機能訓練の見学
- ▶ 12:00 食事介助
- ▶ 13:00 休憩
- ▶ 14:00 インフルエンザワクチン注射見学
- ▶ 15:30 短期入所利用者の送迎同行
- ▶ 16:30 申し送り
- ▶ 17:00 振り返り・日誌記入
- ▶ 17:30 配膳
- ▶ 18:00 実習終了



特別養護老人ホームで参加できたこと

- ・入所選考会議
- ・認定調査
- ・サービス担当者会議
- ・病院への同行
- ・食事介助
- ・入浴介助見学
- ・レクリエーション活動
- ・ワクチン接種時の止血
- ・シーツ取り換え
- ・利用者の整容
- ・配膳



実習目標

▶ 前期（6月）

- ①特別養護老人ホームの役割を理解し、地域とどのような関わりがあるのか学ぶ。
- ②社会福祉士としての業務内容や詳細を理解し、他職種とどのように連携し合っているのか観察する。
- ③積極的に利用者と会話することを心掛け、言語的・非言語的コミュニケーションを活用しながら、ニーズ把握につとめる。



▶ 後期（11月）

- ①利用者の性格やニーズを再度確認し、信頼関係を築く。
- ②利用者の希望を第一優先として考え、自己決定を尊重した個別支援計画書を作成する。
- ③ソーシャルワーカーとしての視点を心掛けながらコミュニケーションのスキルアップを目指す。



個別支援計画書 A様について

- ▶年齢・性別 90代 女性
- ▶介護度 要介護度3
- ▶身体状況
 - ・自走可能 ・短期記憶の障がいあり
 - ・自動ブレーキ付の車椅子・直腸脱



ニーズ	長期目標	短期目標	サービス内容
① 自分で車椅子を使って移動し、怪我無く安全に過ごす。	人の手を借りずに、安定した自走を続ける。	①自動ブレーキ車いすを使用する。 ②機能訓練を継続し、圧迫骨折を防ぐため、ゆっくり座ることができる。	①見守りを行い、自動ブレーキがうまく機能するか定期的に確認を行う。 ②下肢筋力の維持を図るため、車椅子の移乗・移動・声かけ・座り方の確認を行う。
② 脱肛の治癒を促すような環境調整を図る。	状態が悪化しないように自然に治すことを促すことができる。	①処方通りの軟膏を継続、安全に入浴。 ②認知機能の維持または向上を図る。	①入浴介助の際、皮膚状態の確認を行い、ジェットバスでの入浴で心地良い時間を過ごしていただく。 ②レクリエーションの参加

A様のプロセスレコード



▶ 状況

個別支援計画書を作成するために共有スペースでテレビを見ながらコミュニケーションをとった。ケアチェック表が全く進んでおらず、「早くA様から情報収集しないと」と焦り、尋問のようにストレートに項目を聞いてしまい、A様を不快にさせてしまった。

▶ 選択した理由

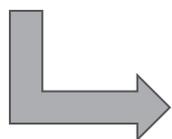
私の身勝手な言動によって、Aさんを尊重したコミュニケーションをとることができなかった。Aさんが不快にならないように違う言葉がけができたのではないかと感じ、この状況を選択した。

私の言動・行動	利用者の言動・行動・表情・態度	私が考えたこと・感じたこと
①「Aさん色々確認したいことがあるのですが、今なにかしたいことはありますか？」と対面に座って尋ねた。	②「もう年だからねえ。何もできないでしょう。特にしたいこともないしね。」と穏やかな表情。	③自分の年齢と活動できる範囲がある程度理解されている。
④「そうですか。でも自分で車いすを使って移動できますし、貼り絵も上手に貼っていて、Aさんは手先が器用ですよ。」	⑤「いやいやそんな、それくらいしかできません。」とほほ笑む表情。	⑥自信をもって話す様子は一切なく、常に謙虚で話してくれる。Aさんの性格の良さが出ている。
⑦「十分すごいですよ、Aさんは今、体の痛いところとかあったりしますか？」	⑧「少し膝が痛いかな、座っていると痛くないけど歩いたら痛い。」と膝をさする。	⑨機能訓練指導員がAさんに動作確認とマッサージをしていた時と同じことを言っていた。Aさんは自身で痛みの認知ができています。
⑩「痛いですよ、またBさんに（機能訓練指導員）マッサージしてもらいましょうね。Aさんは朝ベッドから起き上がれますか？あとトイレまでは自分で行かれていますよね…（ケアチェック項目を質問攻め）」	⑪「どこも悪いところはないの。何もかも自分でするの。自分でできるの。全部できるの！」と軽く私の手をたたく。少し声量が大きくなった。	⑫私が何度もしつこく聞いてしまったことでAさんの機嫌をさせてしまった。焦ってしまい、Aさんに対して詰めた話し方になってしまった。

この流れで改善できた点

私の言動に対して…

⑩「痛いですよ、またBさんに（機能訓練指導員）マッサージしてもらいましょうね。Aさんは朝ベッドから起き上がれますか？あとトイレまでは自分で行かれていますよね…（ケアチェック項目を質問攻め）」



「Aさん今日のお昼ご飯はアジの煮つけですよ。
Aさんはお魚好きですか？」

内容をそらして全く違う事で話をつなげる。
項目をそのまま聞くのではなく、Aさんの心地
いい雰囲気作りに努めるべきだった。



事例を通しての考察



私は先輩と実習しており、先輩の方がケアチェック表をはやくすすめられていた。それを見て、「私もはやく進めないといけない。」と思って焦ってしまい、Aさんに対してケアチェック表の項目をストレートを聞いてしまった。それによってAさんの機嫌を損なわせてしまった。ニーズを聞くことも必要だが、利用者の雰囲気や言動からアセスメントして見つけていかなければならないものだ気付いた。

次の日にその改善としてもう一度Aさんとコミュニケーションをとった。今回は対面ではなく、隣に座ってゆっくり話すことを心掛けた。Aさんの話すペースに合わせて、無言の時間も設けてみると、今度はAさんの方から私に話しかけてくださり、話がはずんだ。自分の言動によって、「こんなにも利用者の接し方が大きく変わるんだな。」と思った。利用者を生活の主体者として意識しながら、本人が話したいときに話せるような環境を作ることもソーシャルワーカーとして欠かせない技術だと感じた。

実習指導者松田さんと職員の方々から学んだこと

職員の方々の行動から利用者や同業者、他職種の職員に対して、相手のことを謙虚に敬うことが思いやりを持った支援につながると感じた。11月の実習では6月の時よりも、より深く生活相談員、ケアワーカー、看護師、機能訓練指導員、ケアワーカー、医師、管理栄養士、老人福祉センターの職員、センターから招かれている外部講師などの業務内容を学ぶことができた。どの専門職でも日々利用者との会話を大切に、安心して暮らすことができるよう、優しい言葉がけを意識されていた。ほんの些細な一言でも利用者の気持ちを大きく左右させてしまうものだ現場を通して感じた。不穏な利用者へどのような言葉をかけたら落ち着いてもらえるのか、初めてショートステイを利用する方にどんな対応をしたら安心して過ごしてもらえるか、ただ無言で介助するのではなく、どのような言葉をかけられたら嬉しいのか。これらのことをよく理解し、想像しながら相手の立場に立たなければ、支援者として務まらないなと感じた。

特別養護老人ホームでは6月の時と比べて、私が初めて食事介助を担当させていただいた方が亡くなっておられたり、元気にお話していた方が入院されていたり、コミュニケーションが取れていた方が意思疎通が難しくなり看取りの居室に入っておられたりと、利用者のADLの低下を改めて実感した。こう感じたことに対して松田さんが「高齢者の支援はADLの低下とは切り離せないものです。だからこそこの衰えの原因は何か、病気であればその病気を学び、その対処法として支援者には何ができるかを想像し、どのような援助をしなければならないのかを考えなければいけません。」と言ってくれました。松田さんからは支援者としての視点や利用者やそのご家族に対しての洞察力、多職種への敬意を持つ姿勢を学んだ。この学びを将来に活かすことができるようにもっと多くの知識・技術を吸収したいと考える。

利用者から学んだこと

私は高齢者に対して、もう年齢と共に仕事もすることができず、ぼーっと過ごすだけの日々を繰り返すだけだと思っていた。しかし、せつつ桜苑に来て、この考えが大きく変わった。高齢者の方々は毎日介護予防体操であったり、健康な体を維持する、又は動くことができるように練習する、家族に負担をかけないようにする、孤独にならないように様々な方々と交流を深め、生活の質を向上するなどのことを目的としてこの施設に来ていることが分かった。

利用者の方々は外部からやってきた私に対して嫌な顔せず、快くコミュニケーションをとってくれた。利用者と話していると、もっと利用者を知りたいという気持ちが湧いてきて、その人の性格や生活歴を聞くことがとても楽しく感じるようになった。最終日に利用者の方々一人一人にご挨拶に伺った。ほほ笑みながら私の手を握って、温かいお言葉をかけてくださったことが、非常に嬉しかった。職員の方々とはもしかしたら何かの縁で福祉業界やプライベートでお会いする機会があるかもしれないが、利用者の方々とはもうお会いする機会はない。利用者の多くは延命治療を希望しない方であり、せつつ桜苑での看取りを希望する方々であった。もう二度と会う事はできないと理解しつつも、最後まで優しい言葉をかけていただいた利用者へ、とても心が辛くなった。涙が止まらなかった。どうか皆様怪我無く、せつつ桜苑での日々を充実して過ごしていただきたいなと感じた。そしてこのせつつ桜苑での貴重な実習経験を糧に、今後の学業に日々精進していきたい。



ご清聴ありがとうございました！！！！

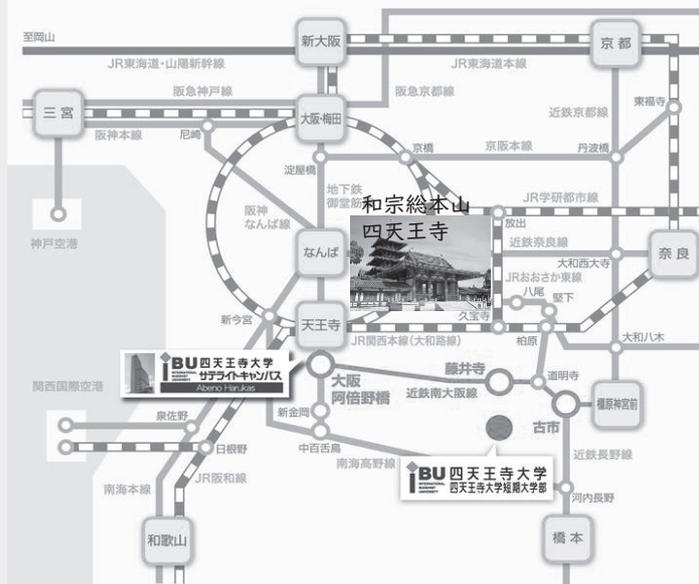
発表10

ソーシャルワークの第一線を垣間見て
～サンローズオオサカでの180時間実習～

四天王寺大学人間福祉学科 岡田勝香

- ・まずは、私が学んでいる四天王寺大学とその実習カリキュラムについて簡単にお伝えします。
- ・持ち時間の関係で、ここには時間をあまり割けませんので、資料でご確認ください。

四天王寺大学 アクセス



四天王寺大学 人間福祉学科 【沿革】

- 593年 四天王寺敬田院(四箇院)
- 1922年 天王寺高等女学校
- 1957年 四天王寺学園女子短期大学
- 1967年 四天王寺女子大学
- 1981年 四天王寺国際仏教大学
- 1998年 人間福祉学科(定員70名)
- 2003年 四天王寺国際仏教大学大学院
- 2008年 四天王寺大学に改称
- 2021年 社会福祉士養成新カリキュラム開始

四天王寺大学のソーシャルワーク実習

1回生 見学実習(福祉への関心)

2回生 基礎実習(9日間:約70時間)

実習A

3回生 専門実習(24日間:180時間)

実習B

4回生 精神保健福祉実習、インターンシップ

実習先を紹介します

特別養護老人ホーム サンローズオオサカ



写真、地図は施設のホームページから引用しました

サンローズオオサカ

- 1997年4月1日設立（社会福祉法人 山水学園）
- 大阪市東成区神路1丁目10番3号
- 「温かくて…なごめて…笑顔があって」そんな家庭的な雰囲気
気を大切にしながら利用者様と関わらせていただいています。
- また、小規模生活介護の実現に向けて安心できるなじみの
関係やなじみの環境づくりに取り組んでいます。
- 各部署間の連携を密に図りながら、専門性のケアの実現に
努めています。

私の実習計画書（達成課題）

- 1 特別養護老人ホームを利用する高齢者の生活の理
解を深め、説明できるようにする。
- 2 サンローズオオサカの職員の業務・役割を理解し、説
明できるようにする。
- 3 特別養護老人ホームを利用する高齢者の社会的背
景などを理解し、説明できるようにする。
- 4 地域とサンローズオオサカの関りについて理解し、説
明できるようにする。

私が入り組んだ事前学習の内容

- ・1 特別養護老人ホームの法的根拠、対象者について
- ・2 サンローズオオサカの理念について
- ・3 施設利用者が置かれている社会状況や環境について
- ・4 施設職員、各職種の業務内容について
- ・5 施設職員の手記(図書)の講読
- ・6 東成区について(人口、高齢化率、地域特性など)
- ・7 その他関連授業科目のおさらい

実習プログラム

- ・「特別養護老人ホーム」として配属されました。

しかし、施設に併設されているデイサービスセンターのほか、在宅介護支援センターや居宅介護支援事業所などの業務も体験させていただきました。

- ・地域支援という視点での実習もさせていただきました。

実習プログラム(24日間:前半)

日数	実習場所	主な実習内容
1日目	第1週 在宅介護支援センター	「おまもりネット事業」チラシ配布／運営戦略会議
2日目	在宅介護支援センター	「つながる場会議」／特養・老健連絡会／被保護世帯訪問
3日目	在宅介護支援センター	認知症サポーターキャラバンメイト連絡会
4日目	在宅介護支援センター	介護認定申請のための訪問／虐待ケース定期モニタリング会議
5日目	居宅介護支援事業所	ケアマネジャー同行訪問(4件)
6日目	第2週 在宅介護支援センター	認知症ケア実践者の会／認知症施策ワーキング(東成区社協)
7日目	デイサービスセンター	デイサービスセンター実習／ケアマネジャー同行訪問(2件)
8日目	在宅介護支援センター	包括的支援事業連絡会／実習巡回指導／病院同行
9日目	認知症対応型通所介護	認知症デイサービスセンター実習
10日目	在宅介護支援センター	包括・ランチ連絡会／東成区居宅介護支援事業者連絡会／ハミングベル緑橋運営推進会議
11日目	第3週 ヘルパーステーション	ヘルパー同行訪問(4件)
12日目	居宅介護支援事業所	ケアマネジャー同行訪問(3件)／事業所訪問

実習プログラム(24日間:後半)

日数	実習場所	主な実習内容
13日目	在宅介護支援センター	グループホーム連絡会／有料・サ高住連絡会
14日目	認知症対応型通所介護	認知症デイサービスセンター実習
15日目	第4週 特養(相談員)	申し送り／申請手続き(城東区役所)／ショートステイ送迎
16日目	在宅介護支援センター	東中本認知症講演会／オレンジチーム会議
17日目	認知症対応型通所介護	デイ体験事前訪問／認知症デイサービスセンター実習
18日目	在宅介護支援センター	認知症サポーター養成講座／宝栄地域ケアネットワーク会議
19日目	デイサービスセンター	個別支援計画アセスメント／レクリエーション
20日目	第5週 在宅介護支援センター	「つながる場会議」／特養・老健連絡会
21日目	デイサービスセンター	個別支援計画作成／レクリエーション
22日目	特養(相談員)	ショートステイ送迎／入所契約手続き／ショートステイ送迎
23日目	在宅介護支援センター	同行訪問／実習取り組み成果発表会
24日目	在宅介護支援センター	映画上映会

介護福祉士養成校の2年間で学んだ介護の専門性の視点

大阪健康福祉短期大学介護福祉学科

大橋奏杜 北地成大 寺元綾太 廣見侑里花 松本琉虎 米満 唯

はじめに

私たちは、2年前、介護が何なのか、何もわからずに、介護福祉士養成校に入学しました。介護とは、単に介助であると思っていました。しかし、1850時間の座学、実習（1850時間のうち450時間）をこなすうち、介護は知識であり、技術（技能）であり、介護の一つ一つの行為には、深い意味があるのだ、ということ学びました。

まだまだ未熟な私たちですが、介護福祉士として職場に入る前に、2年間の学びを報告させていただきます。

ユニットケアについての学び

ユニットケアとは…少人数ケア+個室ケア

[少人数ケア]一人ひとりの生活様式を大切にする

* ご利用者一人ひとりの声を聴く、状態を確認する、日課をこなす、が行い易い。

* 日常的な他者からのまなざしが家庭的で落ち着く

* 自分の部屋とリビングの2つの「自分の空間」が確保できるのではないか。

○ケアに必要なスキル

一人でも臨機応変に判断し、必要な対応ができる

ユニットケアについての学び

〔個室ケア〕プライバシーと「自分だけ」の場所が尊重される

- * 自分らしさ、家族らしさ、家庭文化が実現できる。
- * より「ケ」の自分を出せる。いつもいつも“よそ行き”ではしんどい

○ケアに必要なスキル

安全を確認できる身のこなし、業務動線を確認する必要がある。

多職種連携についての学び

多職種連携とは…周辺領域に対する知識と介護福祉士の役割の理解とその向上、そしてチームリーダーの能力を持つこと

〔周辺領域に対する知識〕

- * 医療・看護・保健、リハビリ、栄養・調理、ソーシャルワーク等の知識
- 専門用語とその意味を理解している必要がある。
- * 多職種と共通言語で情報共有と意見交換ができる知識。
- * 多職種がどのような技術や行為によって、ご利用者に対しどのような役割を果たしているのかが理解できていること。

多職種連携についての学び

〔介護福祉士の役割〕

- * 介護福祉士の役割とは、ご利用者の全体像を知っていること。ご利用者のあらゆる情報が集められる能力。
- * あるいは、ご利用者の情報が集まってくるような、介護福祉士への信頼、専門職としての職業的地位をつくる。
- * ご利用者からの信頼（ご利用者に一番近い存在としての信頼・安心の関係性があること）。

多職種連携についての学び

〔チームリーダーの能力〕

- * ご利用者の幸福な生活と人生のために、多職種との連絡調整ができるコミュニケーション能力。
- * ご利用者の幸福な生活と人生とはなにか、について考えを持ち、判断ができる能力。

〔まとめ〕多職種連携とは、単に申し送りやカンファレンスで情報交換がなされるということではない。ご利用者が望む幸福な生活と人生に向かい、ご利用者にかかわる多職種がもつ知識と技術（技能）を集約し最大限、活かすことが重要。それを集約し活かしていくのが介護福祉士なのではないか。

生活支援技術について学び

生活支援技術とは…

1. 身体の使い方 ～身体が大きい私たち～

私は身体が大きいいため、自身にかかる体の負担が大きく、介助するときにとっても苦勞する。→例えば、おむつ交換や体位変換など。

〔学んだこと〕

○足腰を低くし、頭は引っ張られてるかのように背筋を伸ばすこと。

実践してみたところ、身体が安定した。痛みも軽減された。

生活支援技術について学び

2. 頻回介助を効率的に～ご利用者の負担軽減に向けて

素早く行うべき介助、あるいは速いに越したことはない介助がある。

→それはどの範囲の介助なのか、今後の探求課題である。

～一例として…パット交換の効率性～

頻回に行われるパット交換の仕方が悪く、ご利用者を何度も側臥位にしてしまい負担をかけてしまった経験から、効率的に行う必要がある介助があることを知る。

〔学んだこと〕パットの当て方、効率の良い準備の仕方

- ①パットを当てる際に片側を少し丸めておく。
- ②ご利用者に側臥位になっていただいたとき、今までは反対側から開くことに苦勞していたが簡単に開くことができた。さらにパットのずれが最小限に抑えられた。
- ③その他、必要物品を手の届く範囲に予め準備しておくこと。

生活支援技術について学び

まとめ

生活支援技術とは…

- ①コミュニケーションをとおして行われることである。
- ②自らの身体操作である。行為を身体化させること(技能の熟練・習得)。
- ③準備と段取り、手順である(素早くしても良い介助があるのではないか)。それは、身体の技能ではない。

利用者に負担がなく危険のない介助を目標に、これからも私自身の生活支援技術の向上に努力していこうと思います。

自立支援について学び

自立支援とは…

- ①ご自身でできることを増やすこと、維持すること
- ②ご自身が判断し、決めることができる状態にすること

そして重要なことは、ご利用者ご自身が「ご自身でできている、判断できている、決めることができている」と思っていること。

自立支援について学び

例えば…

実習生の悩みを聞いてくれたご利用者A様。「大丈夫か？」と問いかけてくれる。

実習生「心配してくれてありがとうございます」

Aさん「わたしがついていけるから大丈夫！なんでも言っておいで」

介護の関係を越えて、人と人の関係であることを実感した（本気で嬉しかった）。人と人との本気のご利用者との自立というものがあるのではないかと感じた。

「介護者のご利用者」という関係は、全体の一部であって、人間と人間の関係が、介護にはあるのではないか。

ご清聴、ありがとうございました。

職員となっても、学ぶことを忘れず、そして笑顔を絶やさず、先輩の方々にささえていただきながら、介護職を続けていこうと思います。

元気いっぱいがんばりますので、これからもご指導、よろしく願いいたします。

大阪健康福祉短期大学介護福祉学科 卒業予定学生一同

発表者 No.12



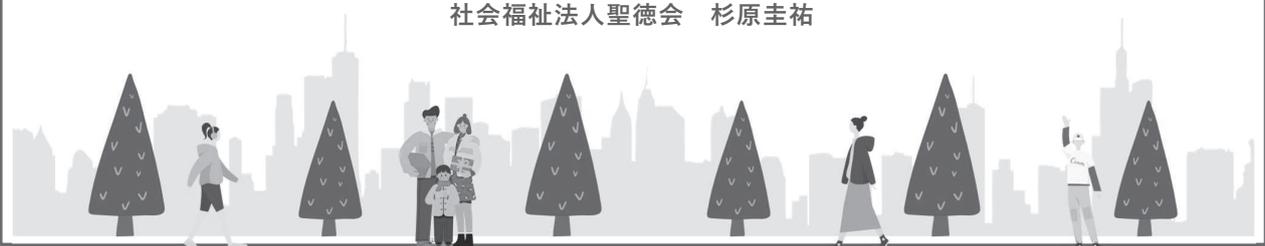
会場	分科会 (A)	発表時間	14時35分～14時55分
法人名	社会福祉法人四恩学園 桃山学院大学	施設名	ふれ愛の館しおん地域密着型特別養護 老人ホーム
カテゴリー	①実践発表 ③学生発表	タイトル	地域の世代間の結び目となるような場の 提供～地域共生の実現にむけて～
発表概要	<p>(1)コロナ禍の中、外部との接触が制限されている高齢者の現状を知り、本人から聴き取りをし、実際に思い出の場所へ模擬外出をおこない、その様子をVR上映して共有している【FIOREI シェア旅】</p> <p>(2)地域の方が集い、学生のアイデアが盛りこまれ、世代間交流のできる場づくり【FIOREI ごちゃまぜ食堂】を行い、社会福祉法人の複合施設として、地域の結び目として大学生と協働した取り組み内容を発表する。</p>		
発表者	<p>■佐藤 舜（桃山学院大学 学生ボランティア）</p> <p>■森口 洋一（生活相談員(課長)）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>		

NOTE

2023年度 高齢者福祉施設実践・研究大会 in OSAKA

地域で暮らす高齢者と大学生の交流をコーディネート — 社会福祉法人が地域のプラットフォームに! —

社会福祉法人聖徳会 杉原圭祐



1

先人から学ぶ

社会福祉法人 聖徳会 SHOUTOKUKAI

この時代、急激に進んだ産業改革や日清・日露戦争、さらに相次ぐ自然災害により、身寄りのない極貧の高齢者が急増。

ある高齢者との関わりがきっかけで、岩田民次郎は養老院を開設した。



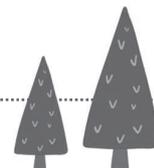
2

『社会福祉法人で働く』って？
を考えてみよう！！



3

社会福祉法人の存在意義 The meaning of existence



- 01 公益性の高い、社会福祉事業の主たる担い手
- 02 事業を确实、効果的かつ公正に行う
- 03 さまざまな生活課題や福祉ニーズをもつ方の生活を支える
- 04 地域福祉の担い手として地域のニーズに応える
- 05 新たな福祉サービスをつくり出す

4

04

地域福祉の担い手として地域のニーズに応える

介護保険のサービス

特別養護老人ホーム
 デイサービス
 訪問介護（ホームヘルパー）
 ケアプランの作成
 グループホームなど



地域のニーズに応える

- ・生活困窮されている方への相談支援
- ・家探しに困っている方への居住支援
- ・自立されている高齢者への介護予防教室
- ・一人暮らしの高齢者への食事の支援
- ・高齢男性の居場所づくりの支援など



5

地域ニーズから
 新たな福祉サービスをつくり出す



6

05

新たな福祉サービスをつくり出す

健康

スタジオ
まっばら

ワンコインで参加できる大人の習いごとを通じて、地域住民の友達づくりや生きがい・楽しみづくりの場として運営している。

「1日誰とも話すことがない」という声から始めることになった。



7

05

新たな福祉サービスをつくり出す

大人のジャズダンス

OTONANO
JAZZ DANCE CLASS

2019年

60代のボランティアから、「同世代の人たちと一緒にダンスをしてみたい」という声と、大学の講師から、「学生がダンスを教える場を提供してほしい」という声が合わさって生まれた、大人のジャンダンスクラス。



8

06

人・地域・社会資源が繋がり合う 地域のプラットフォームになる



9

06

社会福祉法人が地域のプラットフォームに！

地域の高齢者 × 大学生

交流をコーディネートしてみた動画

毎年、松原市にある阪南大学の光安先生のゼミの学生と、地域の高齢者が交流する場をコーディネートしている。

コロナ禍では、オンラインで交流したが、今年は大学内でダンスを通じて交流することになった。



MITSUYASU SEMINAR



10

06

参加者の声

体操は難しかったけど、学生さんたちが優しく教えてくれた。

(70代女性)



笑顔で帰ってもらえたことが嬉しい。自分も楽しかった。

(大学生)



ふだん大学生と話すことはないけど、話せて楽しかった。

(80代女性)



参加者の方と町で出会ったら、積極的に声をかけたいと思います。

(大学生)



11

06

社会福祉法人が地域のプラットフォームに！

人・地域・社会資源
(クライアント)

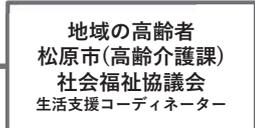
が繋がり合う、きっかけづくり。



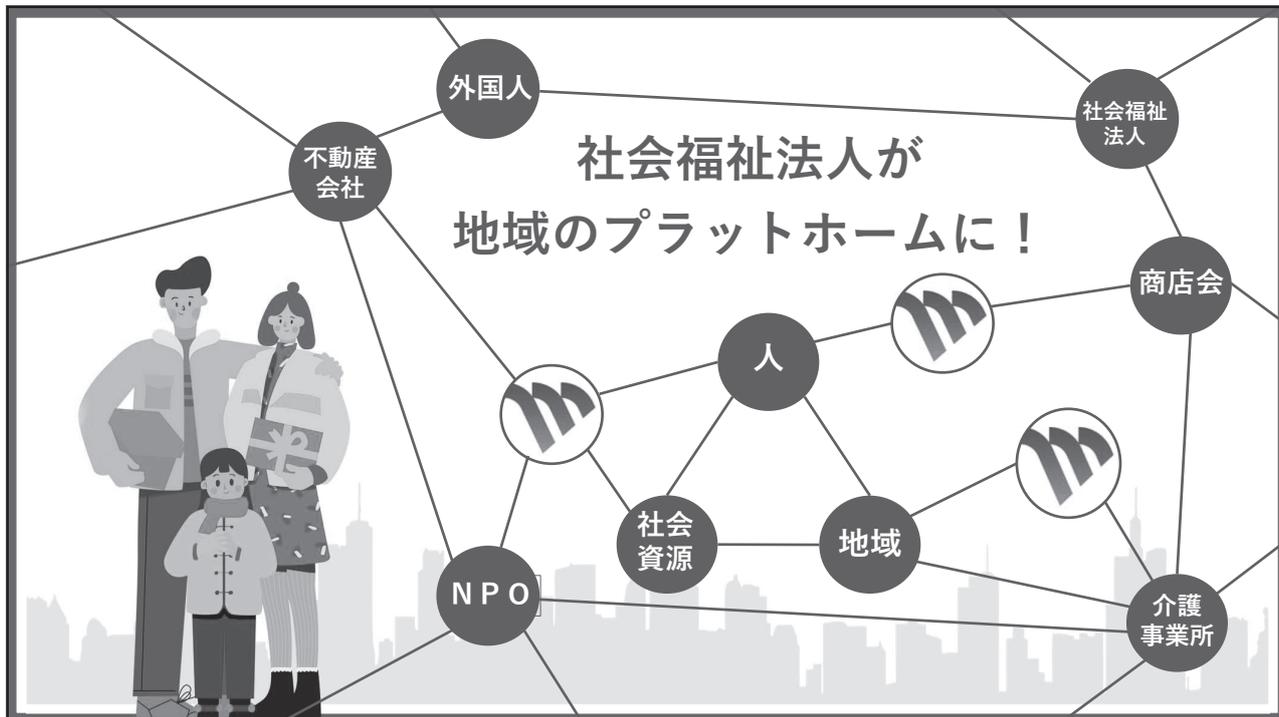
OTONANO
JAZZ DANCE CLASS



光安ゼミ リズム体操 交流会



12



13

THANK YOU!
ありがとうございました

14

地域と福祉施設の共同実践「フォトプロジェクト2023」 ～街にまつわる記憶の共有～



社会福祉法人大阪自彊館

在宅サービス ベラミ 高橋 加容



はじめに

社会福祉法の理念

地域社会の構成員が相互に協力して地域福祉の推進を図る



2

自組織の紹介

社会福祉法人大阪自彊館 福祉施設（東淀川区）



・阪急淡路駅から
約900m徒歩10分
・JR淡路駅から
約1.1Km徒歩12分

社会福祉法人大阪自彊館

ホームページ



facebook



いいね！をクリック！

Instagram



1 をクリック！

自己紹介

高橋 加容

所属：社会福祉法人 大阪自彊館 在宅サービス ベラミ

柴島地域総合相談窓口(ランチ) 生活相談員（社会福祉士）



大阪市HP
ランチの概要



1. これまでの取り組み

8つの取り組み

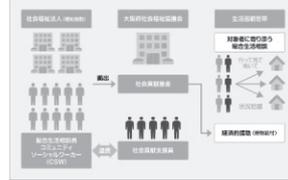
おもちゃ図書館「オズの家」



東淀川区ライフステーション事業



生活困窮者レスキュー事業



ボランティアセンター



大阪市介護予防ポイント事業



リハルテ まちぶんこ



ボランティア コスモスの会



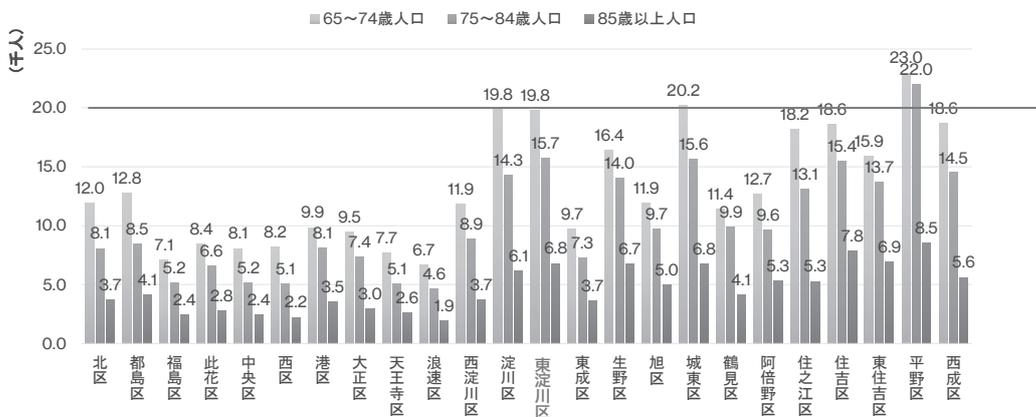
多世代交流「みんなの花壇」



5

2. 地域の紹介

大阪市 65歳以上人口 東淀川区 市内第3位



令和2年 国勢調査人口等基本集計をもとに筆者作成

6

2. 地域の紹介

東淀川区 65歳以上人口率 東淡路地域 区内第4位



令和2年 国勢調査人口等基本集計をもとに筆者作成

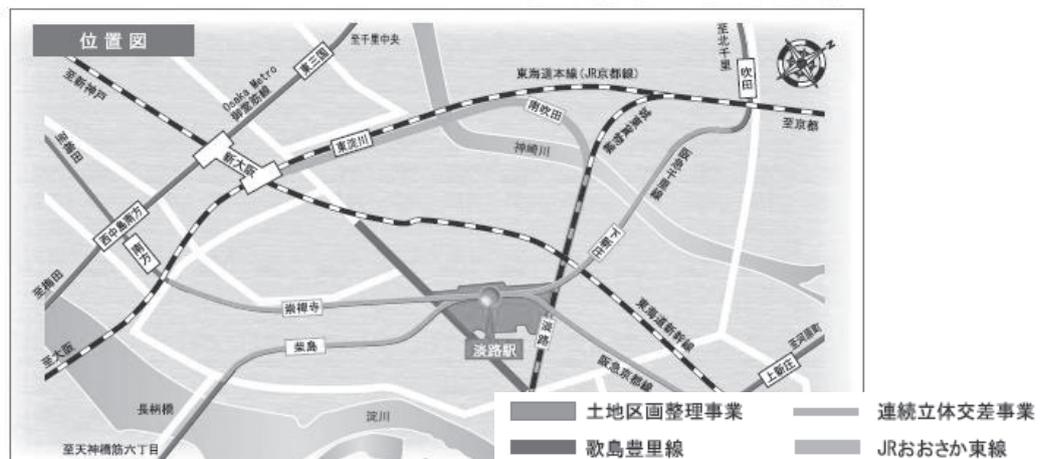
7

2. 地域の紹介

現在

開発が進む街

未来

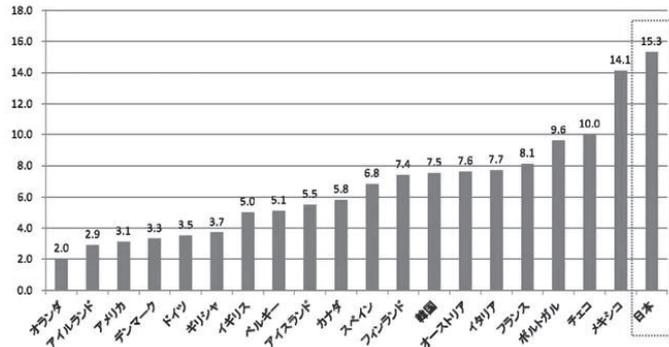


出典：大阪市ホームページ：淡路駅周辺地区土地区画整理事業
<https://www.city.osaka.lg.jp/toshiseibi/page/0000022486.html>⁸

3. フォトプロジェクト実践

「家族以外の人」と交流のない人の割合（国際比較）

○ 日本では「友人、同僚、その他の人」との交流が「全くない」あるいは「ほとんどない」と回答した人の割合が15.3%あり、OECDの加盟国20か国中最も高い割合となっている。



OECD 加盟国における社会的孤立の状況2001年
厚生労働省「生活困窮者・孤立者の現状 資料3-1孤立者の現状」

9

3. フォトプロジェクト実践

私たちの地域では・・・

つながりが希薄に



環境変化



心身が衰える



高齢者が社会から孤立

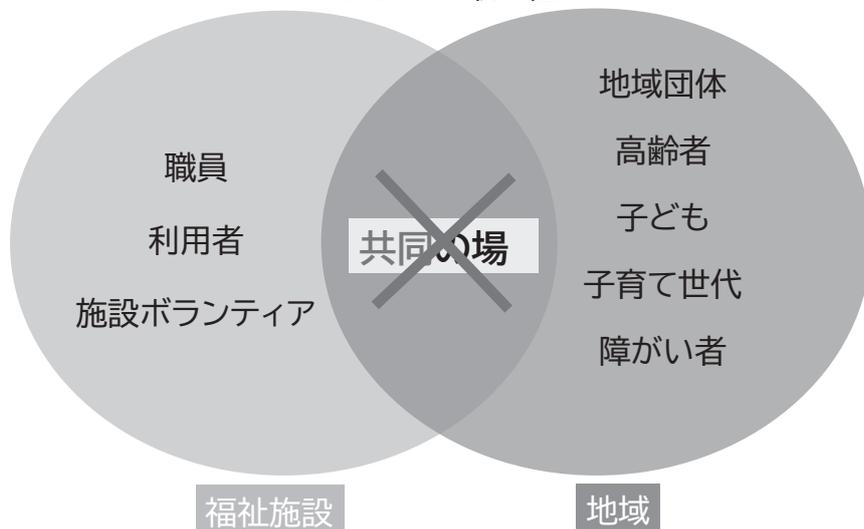
地域みんなで一緒に取り組めることない？



10

3. フォトプロジェクト実践

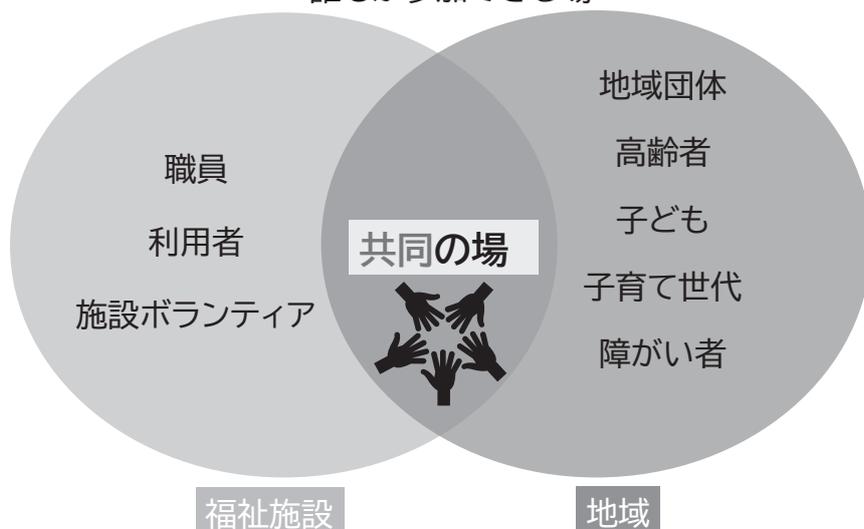
いままでの取り組み



11

3. フォトプロジェクト実践

誰もが参加できる場



12

3. フォトプロジェクト実践



写真展との出会い

大阪市内で開催されたアートプロジェクト



13

3. フォトプロジェクト実践



介護民俗学との出会い



民俗学者である六車由美さんが提唱

具体的な方法は、介護職員が利用者のこれまでの人生の語りと向き合い、それを書き記していく手法
(以下、抜粋)

聞き書きでは、社会や時代、そしてそこに生きてきた人間の暮らしを知りたいという絶え間ない学問的好奇心と探究心により利用者の語りにストレートに向き合うことで、介護される側の利用者と、介護する側の職員という関係を一時的にでも変え、高齢者の生活を豊かにする手法である。

六車由美(2012)『驚きの介護民俗学』
[シリーズ ケアをひらく]医学書院

写真から紡がれる人生の語りがあるのでは！

14

3. フォトプロジェクト実践

やってみよう！ 



自施設・地域へ協力を呼び掛け
フォトプロジェクトがスタート

【広報】
町会の掲示板や回覧板
東淀川区号外ネット
地活協SNS
自彊館SNS




11月26日(日) 13:30~16:00
昭和百周年展 東淀路
東淀川区の今昔写真&思い出を募集中!!
写真受け会場
10月31日(火)
東淀路地域交流センターの前
13:00~16:00
TEL 06-6325-3939

15

11月26日(日)開催 昭和百周年展 スケジュール概要

2023	9月			10月			11月		
主要イベント	★ 9/5(水) 打合せ			★ 9/20(水) 施設打合せ ★ 9/21(木) チラシ完成 ★ 9/25(月) 町会長M プレゼン	★ 10/15まつり内で展示 ★ 10/18施設打合せ		★ 10/31 写真受付会 ★ 10/28(バリアフリー)展で広報		★ 11/25(土) 設営 ★ 11/26(日) 開催
地域	ポスター 募集案内	作成		写真募集の回覧・掲示					
	ポスター 写真展	作成					写真展の回覧・掲示		
施設	広報	柴島センター・東淀路会館へ案内状			地域内の体操などの集まりで宣伝・MCSで発信・法人SNS				
	広報	★ 9/20(土) デイ利用者へ案内発送			★ 9/20(土) デイ利用者へ案内発送				
施設	ボランティア	★ 9/9(土) ボランティア打合せ		★ 10/14(土) ボランティア打合せ		★ 11/11(土) ボランティア打合せ			
		利用者 & 家族へ写真募集を送付				ボランティア保険加入		喫茶	

16

3. フォトプロジェクト実践



写真集め 思い出を聞く



17

3. フォトプロジェクト実践

街の記憶が集まった

写真



貴重な資料



+

語り部



いざ写真展へ



18

3. フォトプロジェクト実践

昭和百周年展 @東淡路

2023年11月26日(日)

13時30分～16時00分

場所:東淡路地域交流センター ※施設に併設

共催:社会福祉法人 大阪自彊館 メゾン リベルテ、ボランティア コスモスの会
東淡路連合振興町会、東淡路地域社会福祉協議会、
東淡路地区民生委員・児童委員協議会

協力:東淀川区南西部地域包括支援センター

19

3. フォトプロジェクト実践



会場風景



ボランティア 喫茶

新たな出会い



20

3. フォトプロジェクト実践



会場風景

利用者の語り



三世代の共有



21

3. フォトプロジェクト実践



語り部の存在

写真の解説は掲載せず



語り部が
来場者へ写真にまつわる
街の記憶を伝えた



22

3. フォトプロジェクト実践



開催結果

- 費用5万円
- 集まった写真 102枚
- 来場者の述べ人数 123名
(内訳:地域住民 施設利用者 職員)
- 喫茶注文 32件



23

3. フォトプロジェクト実践

集まった意見

- 写真を見て懐かしく、嬉しくて胸いっぱいになりました。
- また、開催してください。
- 次は写真持っていきたいです。
- 新たな出会いがありました。
- 開催期間が短かった。
- 写真の説明がほしかった。



24

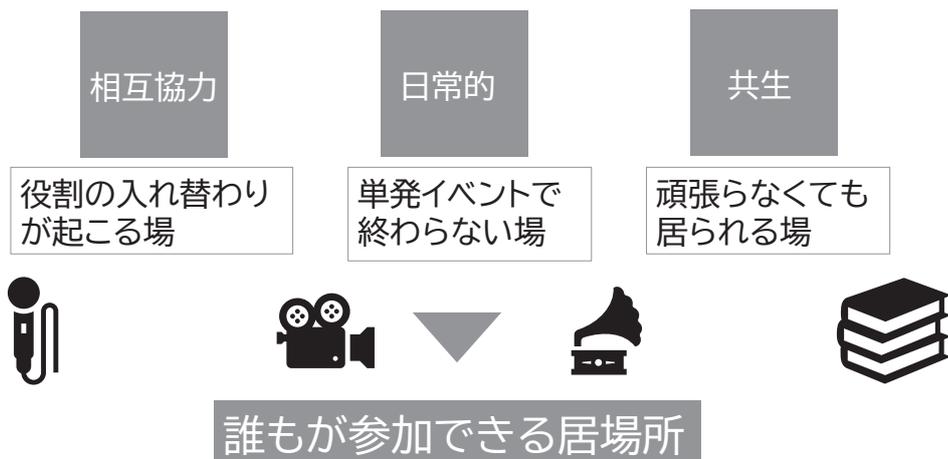
3. フォトプロジェクト実践

関係者で振り返り



25

4. 今後の展開



26

4. 今後の展開



27

2024年2月13（火）
高齢者福祉実践・研究大会 2023 in OSAKA

ええやん、道明寺

～住民の主体形成に向けたこれからの挑戦～

社会福祉法人 邦寿会
総合福祉施設 どうみょうじ高殿苑
地域貢献委員会委員長 前川勇歩

発表項目

1. 報告の概要
2. 藤井寺市道明寺・どうみょうじ高殿苑の紹介
3. 地域活動の展開
4. 施設職員へのアンケート
5. これからの地域活動

自己紹介

前川 勇歩（まえかわ ゆうほ）

2021年3月 福祉科学大学社会福祉学科卒業／社会福祉士取得

4月 デイサービスセンターに配属

2022年4月 **地域貢献委員会**の委員長に就任

6月 大阪社会福祉士会に入会

1. 報告の概要

どうみょうじ高殿苑が開設されてから、法人理念である「笑顔と思いやり、共に暮らし、安らぎと喜びを分かちあう」を基に、地域社会への貢献に取り組んできた。

これまで地域住民と培ってきたものを大切に、これからも地域住民と共に、在宅介護に困っている本人・家族を地域で支えられるような「地域力」を向上させていきたい。

そのために、これまで行ってきた活動を振り返り、現状を分析することで、これからの主体的な地域活動について考えていく。

2. 藤井寺市道明寺の紹介

○藤井寺市地域福祉計画

「支え合い、助け合い、
ともに生きる地域づくり」

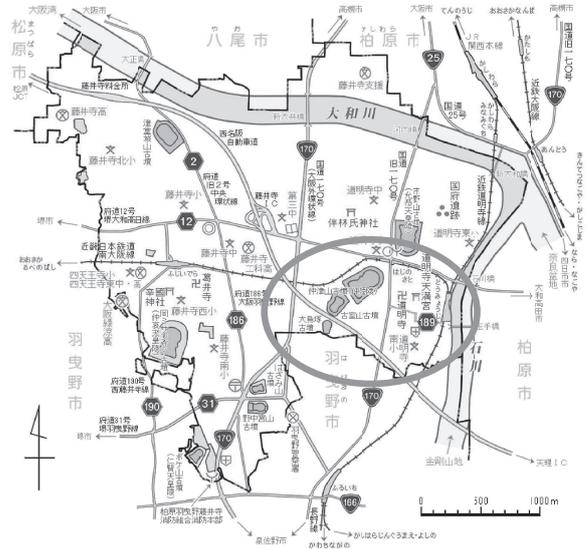
○人口（高齢化率）

藤井寺市：62,770人（28.7%）

道明寺：4,623人（33.4%）

※2023年9月末現在

出典：藤井寺市HP



2. どうみょうじ高殿苑の紹介



【介護保険事業】

特養	29名	ショートステイ	27名
グループホーム	9名	ケアハウス	40名
デイサービス	40名	短時間デイサービス	15名
ヘルパー		ケアプラン	

【その他の活動】

居住支援法人/高殿苑ひろっぴ/介護予防体操/町会活動(どうみょうじ高殿苑町会)



地域交流室で
様々なイベント
♪



庭の桜をバック
に演奏を聴いたり、畑で園児と
一緒に芋ほり！



3. 地域活動の展開

- (1) 地域活動の始まり
- (2) 地域貢献委員会が発足
- (3) 地域貢献委員会の活動
 - ①オープンセミナー
 - ②リズム体操
 - ③高殿苑介護サークル
- (4) 地域活動参加者からの声

(1) 地域活動の始まり

- ・ 入居者・家族のニーズの把握
「喫茶・食事サービスの提供」「外出支援」
- ・ 地区長や福祉・民生委員、社会福祉協議会などと協力
- ・ 外出ボランティア講座の実施
- ・ リスクマネジメント



喫茶の運営・外出ボランティアを開始

参考：「なぎさの福祉コミュニティを拓く 福祉施設の新たな挑戦」

(2) 地域貢献委員会が発足

「地域の中での介護の拠点として、
介護のことで何かあったときに相談
してもらえらるような施設にしたい。」

(3) 地域貢献委員会の活動

①リズム体操

- ・ 回覧板や地区の会議等でPR
- ・ 民生委員、ボランティアさんからの口コミ
- ・ 独居高齢者の同行参加



地域の独居の方の引きこもり予防



(3) 地域貢献委員会の活動

②どうみょうじ介護サークル

- ・ ご利用者家族のニーズ把握
- ・ 在宅介護者同士の交流
- ・ 施設職員への気軽な相談



在宅介護者の支援

第4回 どうみょうじ介護サークル

**歯科衛生士が
歯みがきのお悩み
解決します！**

歯みがきのこと、真剣に考えたことはありませんか？
歯は食べることに直接かわりますし、歯みがきを怠ると肺炎になるリスクが上がってしまいます。ごまかす。今、どうみょうじ介護サークルでは歯科衛生士が歯磨きの方法や悩みに応える機会を作りましたので、是非ご参加ください。

平成31年3月22日(金)
14:00時から

参加費 無料

場所 : どうみょうじ高殿苑 地域交流スペース
住所 : 藤井寺市道明寺3-2-2
連絡先: TEL 072-936-3515
FAX 072-936-3520 (担当:大谷)
お申込みはFAXもしくは電話で(定員15名)

高殿苑

(3) 地域貢献委員会の活動

③オープンセミナー

- ・ 地域ニーズの把握
- ・ ニーズに沿ったテーマ設定
- ・ 専門知識の習得



地域住民の学ぶ場の提供

(4) 地域活動参加者からの声

- ・ 皆様の熱意に感謝です。
- ・ 楽しく勉強出来ました。今後も続けてください。
- ・ 高殿は近くなので、こういう催しがあれば参加したいと思う。
(高齢者の為のセミナー)
- ・ 地域が明るく元気になる為にも、どんどん会館を使って賑わしてください。
- ・ 地域貢献の精神でこのような活動を始められたことを「邦寿会100年のあゆみ」を読み分かりました。参加者がもう少し増えるように努めねばと思います。

参考：オープンセミナー・リズム体操参加者へのアンケート



4. 施設職員へのアンケート

潜在しているパワーがあるのではないか？



「地域活動に対する興味や関心についての調査」

○どうみょうじ高殿苑以外の地域活動を含め、現在何らかの地域活動・ボランティアに参加していますか。

している…18.6% していない…81.4%

○地域活動やボランティアをすることに対して、どのように考えていますか。

したいと思っている…5.7% 興味はある…40.0%
したいと思わない…2.9% 特に考えたことはない…45.7%
分からない…5.7%

→地域で活躍できる人が多く潜在している。

○参加していない理由

- ①休養や趣味等を優先したい
- ②仕事や家事等を優先したい
- ③日々の業務で忙しい

○あなたが地域活動やボランティアに誘われたとして、どのような効果があれば参加したいと思いますか。

- ①新しい経験ができる
- ②関心のある知識や技術が増える
- ③自分の経験やスキルが役に立つ

→やりがいを感じられる活動内容を一緒に考える。

○「やってみたい」「これならできそう」と思うこと

- ・地域行事の手伝い
- ・清掃活動・お掃除系ボランティア
- ・動物に関われるような活動や、自分の地域の高齢者と関われるような活動を行いたい。
- ・今している活動を一生懸命頑張りたい。
- ・苑の方と苑内で時間が合うことがあれば、お手伝いできるかもしれない。
- ・傾聴・買い物や病院同行
- ・手作り教室・認知症カフェ

5. これからの地域活動

道明寺地区 + 潜在パワー → 地域力UP

「主体的」「自主的」にパワーが集まる仕組み・キッカケづくり

マッチングコーディネーター

地域の活動



地域のパワー

施設の活動



高殿苑のパワー

ご清聴ありがとうございました。

令和6年 2月 13日(火)

『地域の居場所づくり』 こども食堂 坂の上のキッチン



達成を掲げるSDGs項目



社会福祉法人 みささぎ会
藤井寺特別養護老人ホーム
ソーシャルリレーション推進室
室長 瀧本 直志

〒583-0024 大阪府藤井寺市藤井寺4-11-7 TEL...072(952)0008 FAX...072(952)0337
E-mail...fujiiidera@misasagikai.or.jp ホームページ...http://www.misasagikai.or.jp

みささぎ会の社会貢献活動



★令和5年6月開始

坂の上のキッチンについて



藤井寺特別養護老人ホーム



場所: 1階デイサービスのフロアで開催
開催日: 偶数月第3日曜日

藤井寺市



人口: 約6.5万人

出生数: 約400人

近隣の小学校
2校: 約900人

地域のこども食堂数
9ヶ所



3

コロナ禍の3年間

- 地域のつながりの希薄化
- 活動に制約が生じた



令和5年度から新しいこと
はじめてみないか



坂の上のキッチンオープンの背景

○子どもの貧困:

- ・日本では「7人に1人」の子どもが貧困状態にある。

○孤食:

・孤食が続くと、好きなものばかり食べる傾向になり、栄養が偏りがち。それに加えて、コミュニケーションが不足する結果、社会性や協調性のない人間に育ってしまう恐れがある。



地域社会みんなで子どもを育む

こんなこども食堂を作りたい！！

食事の提供を通じて、

- 共食や旬の食材に触れるなどの食育
- 寛げる場所としての 居場所づくり
- わくわく体験(体験格差の解消)
- 個別対応(総合生活相談)



開設までのスケジュール等

対象： 藤井寺南小学校・藤井寺西小学校に通っている子ども

準備と片付けは
子長ってね？

こども食堂
**坂の上の
キッチン**

2023.6.18(日) 11:30▶15:00

メニュー：
カレーライス

料金 大人 200円 こども 無料

場所 藤井寺特別養護老人ホーム1階
藤井寺市藤井寺4丁目11-7

申し込み 申し込みはLINE (QRコード) またはお電話
(072-952-0008) にて下記情報をご連絡ください。
①保護者氏名②住所③電話番号④児童氏名⑤年齢⑥小学校名

定員 15名・予約優先

●主催：社会福祉法人みささぎ会 LINEから登録をお願いします
●お問い合わせ：072-952-0008 (09:00~17:00) 担当：洞本（ふちもと）・三井
●注意事項：ご予約された方が優先となります。
食物アレルギーへの対応はいたしかねますのでご了承ください。

当日スケジュール

開始時間	内容
11:30	受付開始
12:00	みんなでいただきます
13:00	レクリエーション 学習支援
15:00	終了

勉強したい人は
学習プリント
等持って来てね

れくいえーしょん
○カーリングゲーム
○とるねーどホテト作り

年間スケジュール

開催予定日

- 6月18日(日)
- 8月20日(日)
- 10月15日(日)
- 12月17日(日)
- 2月18日(日)

外観(がいかん)

このさかみちを
のほってきてね。

近隣小学校と つながりたいな...



出張授業をしよう



地域(町内会)と つながりたいな..





14:00~20:00 小雨決行
 ※雨天の場合翌日27日(日)
 場所: アイセルシュラホール
 ピロディー

出店

- 桃山学院フーズ・デザート・カフェ
- 桃山学院にぎやんこお茶室
- 桃山学院にぎやんこエーパードレス・ルーム・キッチン
- アイセルシュラホール・桃山学院 事務所

主なだしもの

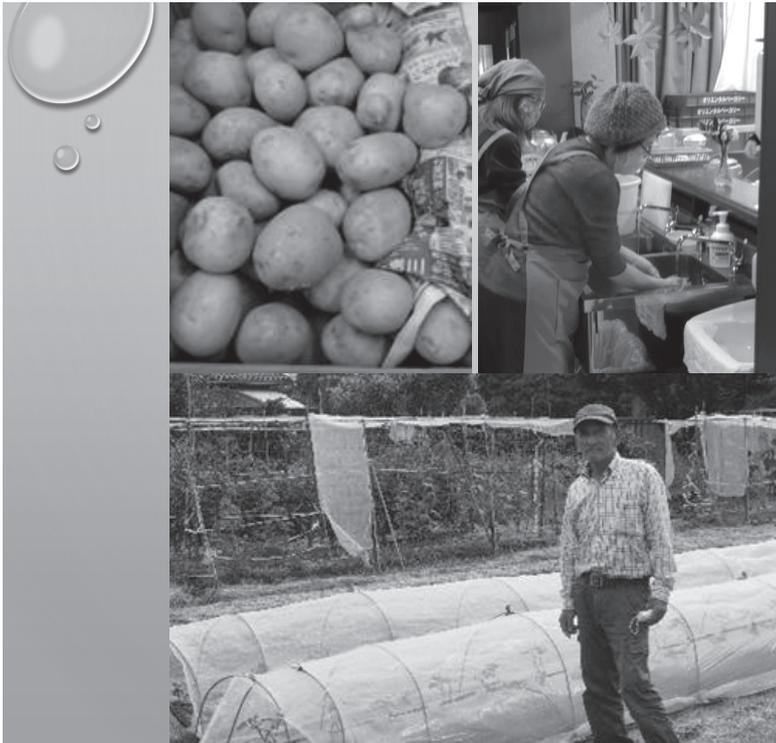
- 桃山学院教育大学・ポン・エーパードレス・ルーム
- 14:00~16:00
- 桃山学院市民会館コンサート
- 18:00~19:00



地域のお祭りに
 実行委員として参加
 桃山学院教育大学
 しゃぼん玉同好会とコラボ

農家さんと つながりたいな..





○社会福祉法人
賀光寮さん

○近所の農家さん

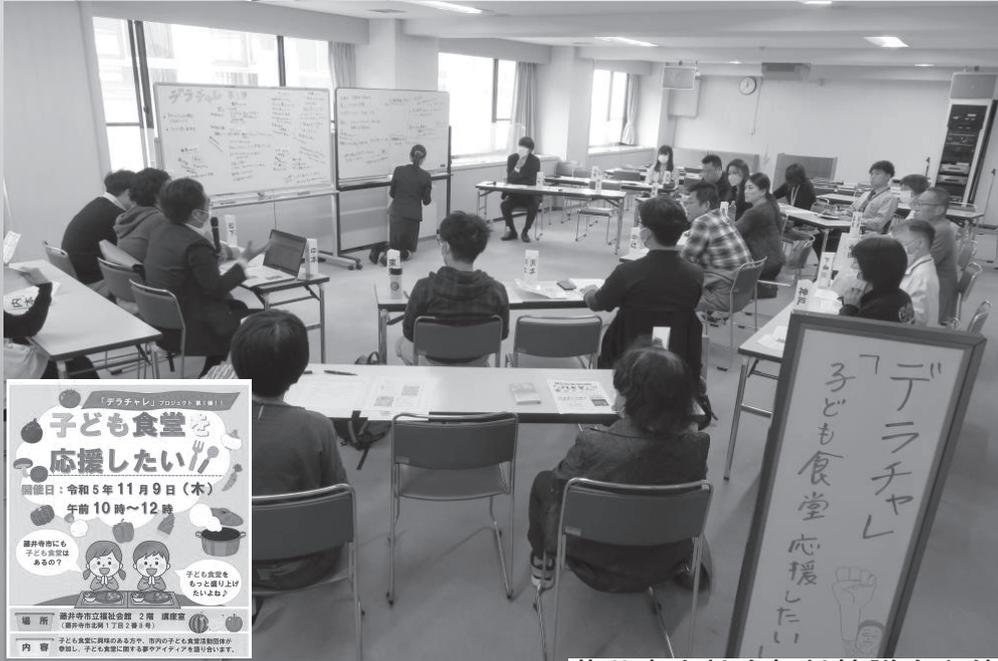
○職員の家族

○管理栄養士と一緒に
援農ボランティア参加

13

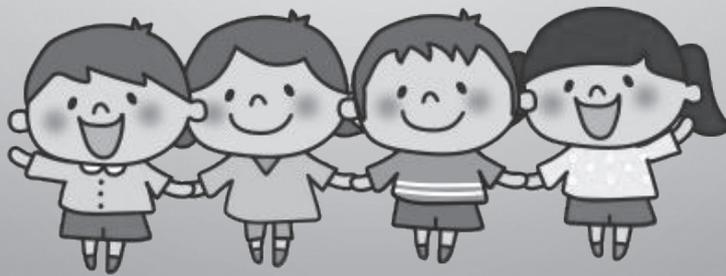
地域のこども食堂と繋がりたいな・・・





藤井寺市社会福祉協議会主催

地域のこども関係の方とも

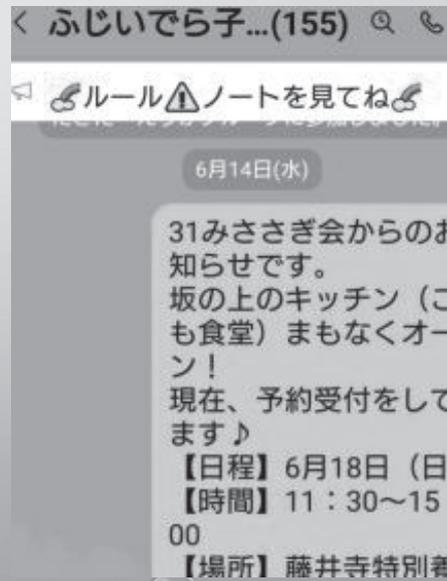


藤井寺市社会福祉協議会
6月8日・金

【新たな居場所が出来ますよ！～坂の上のキッチン～】みなさん、こんにちは。生活支援コーディネーターです。またまた新しい「こども食堂」が6月に藤井寺市内に誕生します！その名も『坂の上のキッチン』。みささぎ会さんが、地域の方のつながりや参加のきっかけになりたい、将来的には子どもから高齢者まで誰でも参加できるアットホームな居場所にしたい！との思いで、藤井寺特別養護老人ホームの1階で開催します。予約制ですが、まだ空きはあるとのこと、美味しいカレーライスを食べに行きませんか？！
日時：6月18日（日） 11時半～15時
問合せ先：社会福祉法人みささぎ会 担当：洲本（ふちもと）・三井
TEL：072-952-0008（9時～17時）



藤井寺市社会福祉会のフェイスブックで紹介



藤井寺子育て連絡会に加入

坂の上のキッチン活動報告

開催月	参加人数	メニュー	わくわく体験
6月	17名 (9名)	カレーライス 職員の子	カーリング トルネードポテト作り
8月	20名 (12名)	焼きそば・からあげ	夏祭り
10月	24名 (15名)	ハンバーグ ふれあいまつり・イオン	焼き芋・焼きマッシュマロ ビーズアクセサリー作り
12月	37名 (21名)	シチュー 片親団体等	クリスマスコンサート クレープ作り
2月18日	約40名	すき家の牛丼	チャンバラ合戦 おもしろ実験

坂の上のキッチン 食事風景



19

取り組み(わくわく体験)



20

参加者・運営スタッフ皆楽しむ！

参加者の声



○また次回も参加できそうであれば子どもが喜びそうなので行かせて頂きたいと思っています。ブログも拝見しました。

○美味しいご飯と楽しい時間をありがとうございました(^_^)♪
子どもたちもカーリングまでさせていただいて、とても楽しかったと言っています。

○輪投げやアイス作り、娘たちもとても楽しんでいました(^^)

○子ども達もそれぞれとても楽しめていたようです。こんな美味しいお昼ご飯初めて！

★参加された方が、友人に声をかける等口コミでも坂の上のキッチン が広がっています

個別対応ケース

情報共有シート

子ども3人が一時保護されたシングルマザーの支援		地域	藤井寺市		
主な対象者	性別	<input type="checkbox"/> 高齢	<input checked="" type="checkbox"/> 母子・寡婦	<input type="checkbox"/> 身体障がい	<input type="checkbox"/> 知的障がい
	女性	<input type="checkbox"/> 精神障がい	<input type="checkbox"/> 外国籍	<input type="checkbox"/> ホームレス	
	年代	<input type="checkbox"/> 虐待	<input type="checkbox"/> DV	<input type="checkbox"/> 引きこもり	<input type="checkbox"/> 病気
	20代	<input type="checkbox"/> 認知症	<input type="checkbox"/> 介護認定	<input type="checkbox"/> 多重債務	<input type="checkbox"/> 各種滞納
	世帯	<input type="checkbox"/> 多重債務	<input type="checkbox"/> 各種滞納	<input type="checkbox"/> 無収入	<input type="checkbox"/> 不就業
4人	<input type="checkbox"/> その他()			<input checked="" type="checkbox"/> 生活保護	
紹介経路	子ども食堂坂の上のキッチン開催日に、知人と一緒に来られた				
相談内容	両親は早くに離婚、母親とは第2子出産後会っていない若いころは飲食店で働いた経験あり。前夫は、自営業をしていたのでその手伝いをされていた。昨年9月に離婚。令和5年1月に彼氏宅へ引っ越し住民票は移しており、世帯分離している。長女・次女は〇〇小学校、長男は〇〇保育園に通っている。本人は、令和5年4月まで月8～9万円の収入があった。同居していた彼氏は、令和5年5月～無職となり、現在連絡が取れない状況である。6月18日(日)子ども食堂坂の上のキッチン開催中に友人から電話連絡あり、面談、食料支援を開始する。 ※彼氏は行方不明者届を提出した翌日に警察から電話があり、安全な場所にはいますと返答があった。実家の母にもそのように伝えている。実家のある和歌山に帰ったと考えられる。後日、弁護士を通じて交際は解消すること、7月20日までに退居するよう連絡あり。				
対応(相談・支援の内容)	◎生活保護受給開始までの間食料支援を開始(6月18日～) ◎喘息を患っているため、〇〇内科医院受診付き添い(6月19日)⇒症状落ち着いており受診提案するも希望されず ◎住居設定や各種手続きの支援、不足物品等支援 ◎6月21日(水)ケースワーカー自宅訪問 ◎7月5日(水)生活保護受給開始予定・弁護士無料相談◎6月20日(火)～知人の飲食店で働いている。 ◎子ども家庭センターとの面談 同行3回 ◎小学校エリアで引っ越しを考えている。住宅確保要配慮者支援法人の聖徳会杉原氏と連携 ◎7月20日までにマンションから退居(弁護士事務所より)⇒7月20日に引っ越しすることができた。 ◎クーラー取付の間、無料低額宿泊所尽心慮で日中子どもの学習支援、食事提供をおこなった。 ◎7月25日子どもの分の生活保護受給開始となった為支援を終了。 ※子どもたち3人は一時保護施設から一時里親を経て自宅へ戻っている。サポート体制が整っていると判断されたので、通常よりも早く戻ることができたとされる。※学校関係者やスクールソーシャルワーカーとは関わる事ができず				
社会資源の活用	大阪しあわせネットワーク 89,465円				
経済的援助	食品、日用品、転居初期費用の一部、家電(サーキュレーター)				
連携機関	藤井寺市生活支援課、住宅介護要配慮者支援法人、富田林子ども家庭センター、社会貢献支援員				
主要関係者	みささき会	主催員CSW	瀬本 直志		

活動の成果

○職員について

調理員: 目前調理で、「うまっ!」と言ってくれると嬉しい。
介護士: 自発的に小学校への体験授業やこども食堂の手伝いをする。

○参加者について

学習支援希望者はいないが、参加後に次回の予約をされる方が多い。
1回きりの参加者はいないので、参加を楽しみにされていると思われる。

○地域とのつながりについて

こども食堂を通じて、小学校、子育て団体、農家、企業等繋がりが増えた。
小学校に関しては、今年度4年生2回、3年生1回体験授業を実施。

23

今後の展望・まとめ

- 来年度はこども食堂を毎月1回開催する
- 未就学児の受入れ人数も増やしていく(柔軟に対応する)
- コロナが5類となったので、地域と近隣学校とのつながりを増やしていく
- 行政(こども未来部)、地域、学校関係者と連携しながら地域の中に
あったらいいなを創造していく

24

かたの七タプロジェクト ～世代を越えて心がつながる願いごと～

きんもくせいデイサービスセンター 管理者 村山 慶

発表の流れ

- ・ 取り組みのきっかけは？
- ・ かたの七タプロジェクトの取り組み

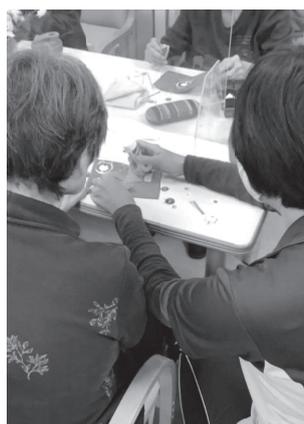
取り組みのきっかけは？

交野市の通所介護事業所の利用者がクリスマスカードを作り市内の保育園や幼稚園に配布をしたことがきっかけになった。

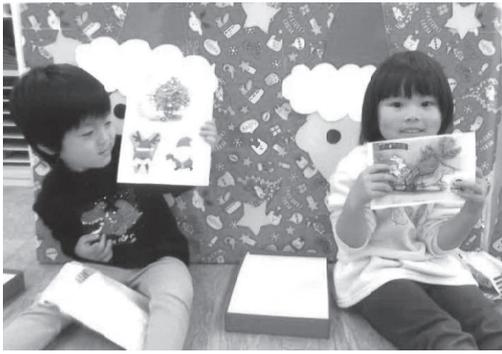
協力先

デイサービスセンター、デイケア：5か所

作成数：約680枚



一生懸命に作成をしています



「多職種他機関で地域作りをしたい」

交野市だから出来ることを協同して行う事を考えた

「世代間交流」

「更生支援」

「役割り・いきがい」等を軸に

「地域とつながりたい」

一人（事業所だけ）では
出来ないことだらけ

多職種で

出来ない事は補い

強みを共有することが重要

かたの七タプロジェクト

～世代を越えて心がつながる願いごと～

かたの七タプロジェクト工程

4月		5月		6月		7月	
14	打ち合わせ	1 5	打ち合わせ 短冊原案完成 (女子学院作)	9	各校区への配布(社協)	3	ゆうゆうセンター準備
1 7	フレンドタウン交野 と打ち合わせ	2 3	通所事業所、ボラセン での作業開始	1 9	こども園等へ配布(通 所事業所)	7	フレンドタウン・ゆ うゆうセンター片づ け
				2 0	交野女子学院にて ・笹飾り贈呈式 ・打ち合わせ	10	機物神の奉納
				3	フレンドタウン準備		



原案(設計図付き)



作業の様子

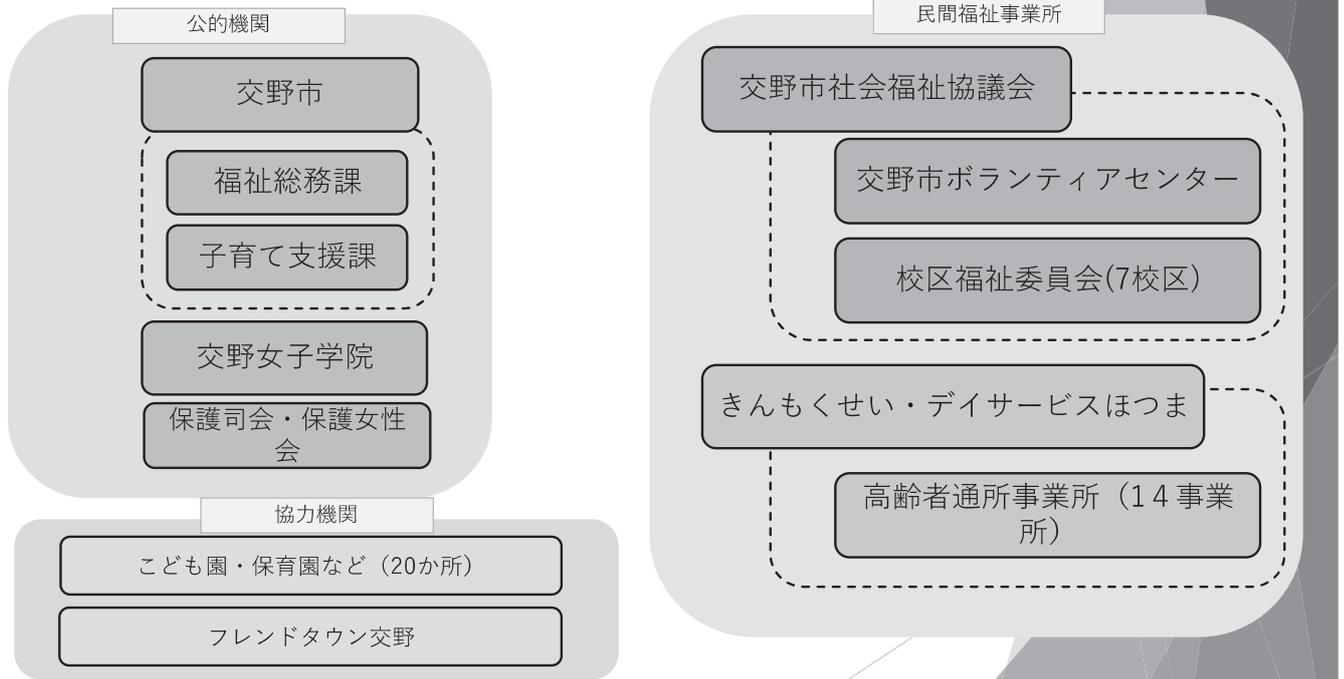


フレンドタウン交野



機物神社に奉納

かたの七タプロジェクト関係図



かたの七タプロジェクト目的

七タの短冊を作成すること、願いを書くことを通して心がつながる事業を行う。

ねらい

- 全体
- ①交野女子学院在院者を地域社会とつなげることで、彼女らの自己肯定感を高め、再犯防止につなげ、この取り組みを通じて、地域の側にも更生保護の重要性を感じてもらう。
 - ②世代間を超えた生きがいづくりや、人と人とのつながりを大切にしたいという思いを醸成する。
 - ③プロジェクトに参加することで更生支援について「我がごと」になってもらう。

高齢者通所事業所

- ①利用者さんに「誰かのために」制作することを通して、地域とのつながりを持ち、生きがい・やりがいを感してもらいたい。
- ②子どもたちと交流出来るイベントが無いので、間接的につながりを再構築したい。

ボランティアセンター・社会福祉協議会

分野・世代を越えて「楽しさ」を持って繋がり、各関係機関の持つ力を最大限に引き出したい。

交野女子学院

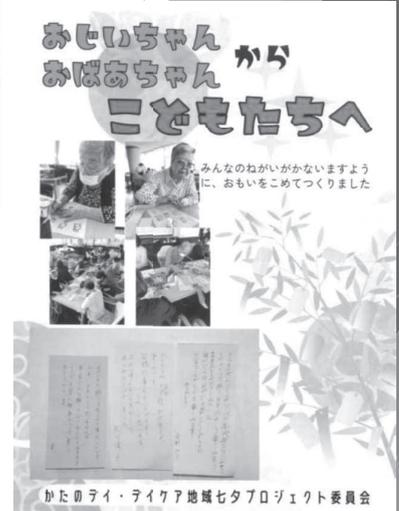
昨年よりもう一步企画に関わり、少年たちに季節を感じるイベントに参画してもらい、地域との繋がりによる成功体験を積んでほしい。「誰かの役に立つ」経験を通して、少年の自己肯定感を高めたい。

交野市

保護司会・更生保護女性会とも協力し、昨年度より広がりのある取り組みを行う。

分野・世代を越えて多くの人々が互いの強みや良さを理解し、発揮し、繋がれる基盤にしたい。重層的支援体制整備事業の参加支援とも連動させていきたい。

かたの七タプロジェクト



想いの伝わるポスター

かたの七タプロジェクト協力福祉関係事業所

交野市社会福祉協議会

交野市ボランティアセンター

校区福祉委員会(7校区)

中心メンバー

★ きんもくせいデイサービスセンター

★ デイサービス「ほつま」

交野デイサービスセンターとまと

サール・ナートかたのデイサービスセンター

バルコープデイサービスいわふねの森

高齢者通所事業所

まつり妙見口

逢々館かたの

かぐや

ほっこりatホーム

こども園・保育園など

デイサービスセンターきさべ

デイサービスセンター天の川

デイサービスセンター明星

デイサービスセンターあおやま

デイサービスセンターほしだ

私部保育園

星田こども園

高岡幼稚園

こどもゆうゆうセンター

あまだのみやちどりこども園

倉治こども園

ふじが丘保育園

第2きんもくせい保育園

わかばこども園

きらきら保育園

天野が原保育園

ほしのまち保育園

ぼっかばか7丁目保育園

ほしのうた保育園

私市保育園

市立あさひ認定こども園

さくら保育園

市立くらやま認定こども園

にこにこ保育園

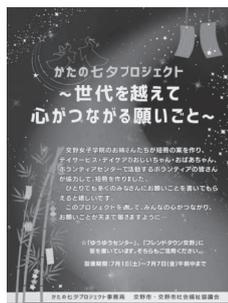
ふじがお幼稚園

交野支援学校

かたの七タプロジェクト 配布



交野支援学校へ短冊をお渡ししました



子育てサロンで七タイベント
（校区福祉委員会）

かたの七タプロジェクト振り返り：交野女子学院



フレンドタウン交野での作業の様子



ゆうゆうセンターでの作業の様子

かたの七タプロジェクト振り返り：交野市



市長がお願いごと第一号



保護司さん、保護女性会さん達と一緒に和気あいあいと飾りつけ



利用者さんの活躍を見に行こう



かたの七タプロジェクト思い出館

フレンドタウン



ゆうゆうセンター



天まで届けみんなの願い

かたの七タプロジェクト思い出館



最後に

介護保険制度も大切

介護保険制度を基に可能性を見つけていくこと

「最後の最後まで人として役割りや
生きがいを持って生きてほしい」

「誰かのために」

は

「心と心が繋がる」

2024年2月13日
令和5年度「高齢者福祉実践・研究大会 2023 in OSAKA」

地域支援事業の発展

社会福祉法人 八尾隣保館
地域支援事業なないろ 田村 将一

発表の流れ

- ▶ 1、八尾市について
- ▶ 2、八尾隣保館について
- ▶ 3、地域支援事業なないろについて
- ▶ 4、取り組みの中で見えてきたもの
- ▶ 5、今後の展開について

1. 八尾市について

(1) 面積

41.71km²

※貝塚市：43.93km² 富田林市：39.72km²

(2) 人口（2021年10月1日現在）

264,032人（65歳以上：74,907人）

※茨木市：283千人 寝屋川市：229千人

(3) 人口密度（2021年10月1日現在）

6,330人

※大阪市西淀川区：6,739人 堺市堺区：6,297人

出典 八尾市および各市区HPの公表データより



1. 八尾市について

(4) 高齢化率（2020年）

八尾市：28.3%、日本全体：28.8%

（後期高齢者75歳以上は、15.3%）

(5) 要介護認定率（2020年）

八尾市：22.9%

要介護認定者合計：5667人

（第一号被保険者：5484人、第二号被保険者：183人）



1. 八尾市について

(6) 第4次 八尾市地域福祉計画

誰ひとり取り残さない
しあわせを感じる共生のまち
～ おせっかい 日本一 ～



2. 社会福祉法人 八尾隣保館について



【児童福祉事業】

- 母子生活支援施設 ルフレ八尾 【定員：50世帯】
 サテライトホーム 【定員：9世帯】
- 認定こども園
 (幼保連携型) キリンこども園 【定員：90名】
 キリン第二こども園 【定員：70名】
 エブリ 【定員：20名】
 (キリン第二こども園分園)
- 放課後児童健全育成事業 Kidsつむぎ

2. 社会福祉法人 八尾隣保館について



【介護保険事業】

- 成法苑 特別養護老人ホーム デイサービスセンター
ケアプランセンター 地域包括支援センター
ホームヘルプサービス
- サポートやお 八尾市立養護老人ホーム心合寮
デイサービスセンター 認知症対応型デイ
ケアプランセンター 地域包括支援センター
- Lifeつむぎ 地域密着型特別養護老人ホーム
サービス付き高齢者住宅 認知症対応型デイ

2. 社会福祉法人 八尾隣保館について



【障がい福祉事業】

- サポートやお 障がいショートステイ・デイサービス
障がい者虐待防止センター

【地域支援事業】

- 生活困窮者レスキュー事業
- 中間的就労事業
- 学習支援事業
- スマイルサポーター事業
- 乳幼児検診時の保育士派遣（乳幼児相談事業）
- 家族介護者慰安旅行（介護者リフレッシュ旅行）
- 八尾市ひとり親家庭支援ネットワーク事業
- 産前産後ケア事業
- 居住支援法人
- 法人後見

2. 社会福祉法人 八尾隣保館について



職員数 常勤183名、非常勤163名（2023年11月現在）



（詳しくはHPをご覧ください <http://www.yaorinpokan.or.jp/>）



3. 地域支援事業 なないろについて



- 生活困窮者レスキュー事業
- 中間的就労事業 ・ 居住支援法人
- 食支援活動 ・ 法人後見 ・ 大阪DWAT
- 要支援児童等見守り強化事業



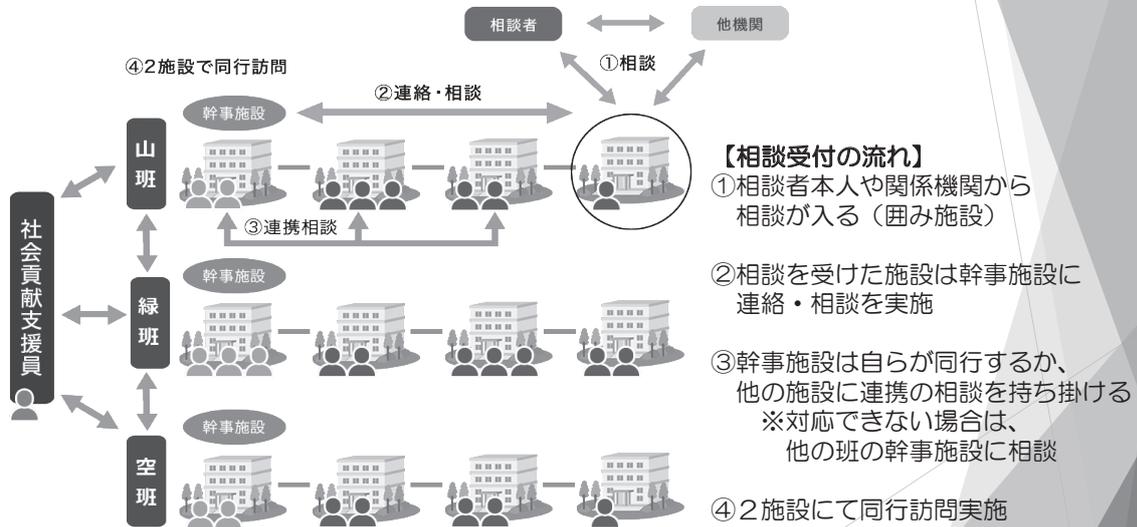
大阪老人福祉施設研究大会
youtube



やおらじ介護40/50
stand.fm



『生活困窮者レスキュー事業』について



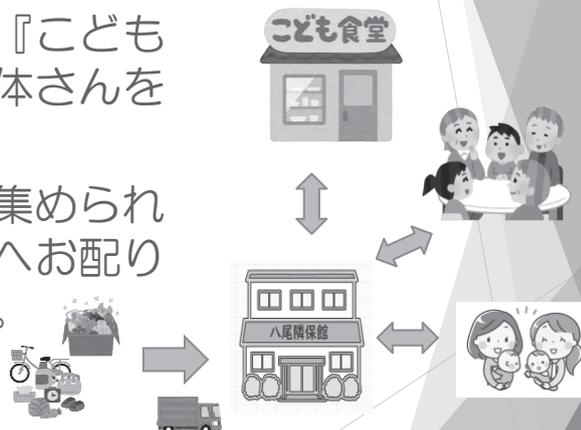
『中間的就労事業』について

- ▶ 「働きたいのに働けないすべての人」の就労をサポートする事業です。直ちに一般就労を目指すことが困難な生活困窮者に対して、支援付き就労機会の提供等を行う事業です。



『食支援活動』について

- ▶ 地域の『こども食堂』や『こどもの居場所づくり』等の団体さんを後方支援する事業です。
- ▶ 全国食支援活動協力会に集められた食材や支援物資を地域へお配りする拠点となっています。



『法人後見』について

- ▶ 「地域における公益的な取組」として、法人後見を行う事業です。認知症や知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方の後見人等になり、身上保護や財産管理を行います。



『大阪DWAT』について

- ▶ 災害発生時に被災地派遣を行い、福祉専門職による地域ニーズの把握や支援を行う
- ▶ 避難所生活の長期化による生活機能の低下や要介護度の重度化など二次被害防止を図る



『見守り強化事業』について

- ▶ 支援対象児童等がいる世帯に対して、状況把握（アウトリーチ）・食事等の提供・居場所、学習支援等をおこないます。
- ▶ ヤングケアラー等がいる世帯に対してヘルパーを派遣します



『居住支援法人』について

- ▶ 住まい探しに困っている高齢者、障がい者、子育て世帯、低所得者、被災者、外国人世帯の方々への支援を行う事業です。不動産業者等と連携し、お部屋探しのお手伝いを行います。



事例紹介

事例①

相談経路	生活福祉課
相談内容	50代独居女性 知的障がい ゴミ屋敷状態 近隣トラブル 強制退去
対応方法	転居へ向けて伴走型支援



事例紹介

事例②

相談経路	他市地域包括支援センター
相談内容	70代独居男性 金銭トラブル（家賃滞納・高額家賃） スーパー大家さん
対応方法	八尾市での新生活へ向けて伴走型支援



4. 取り組みの中で見えてきたもの

- ▶ 断らない相談支援 伴走型支援
- ▶ 連携の大切さ 新しいつながり
- ▶ 困難ケースなんて無い！
- ▶ ソーシャルワークはおもしろい！

5. 今後の展開について

- ▶ 信頼
おせっかい（節度ある介入）日本一へ
- ▶ 創造
新しい事業への挑戦と深化
- ▶ 貢献
『やおでおや』になろう！



他部署間交流を通じて

～利用者のできる力を大切に～

特別養護老人ホーム ふれ愛の家
高取幸一郎・今石卓弥

社会福祉法人 東光学園 特別養護老人ホーム ふれ愛の家



入所（84床）

ショートステイ（16床）

デイサービス

居宅介護支援事業所

地域包括支援センター



「最近、利用者よりも
業務が優先されて
いるのではないか」

業務優先になってしまっている理由

新型コロナウイルス

感染予防のため

小人数で迅速な対応が求められた



一度立ち止まって 利用者のケアを考える

他部署間交流 (特養→デイサービス)



レポート紹介



安全に楽しく暮らせる環境

その人を知るための
コミュニケーション

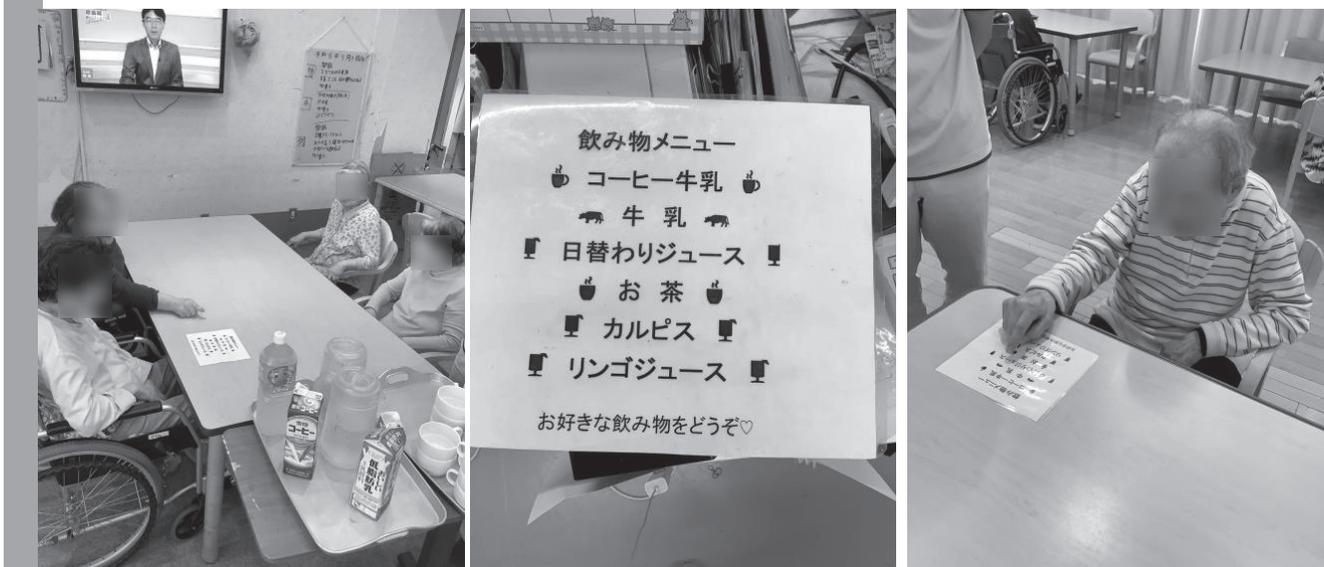
出来る力・伝える力
を奪わない

取り組み



水分補給の飲み物は
利用者に
選択してもらおう

取り組み



利用者の感想

飲みたい飲み物が飲めて
嬉しい
選ぶ行為そのものが
楽しい



職員の感想

意味あるの？

利用者の趣味趣向が
わかった

利用者の想いを聞く
大切さに気づいた



現在の取り組み



好きな物を選ぶ

利用者との
コミュニケーション

ケアの見直し



利用者本位 のケア

10代～70代の幅広い年代の職員
ベトナム人職員も活躍中！



